DENON

DVDオーディオビデオ/スーパーオーディオCDプレーヤー

DVD-1400

取扱説明書

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください

・お買い上げいただき、ありがとうございます。
・ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
・お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

もくじ

ご注意

お使いになる前に

接続について

DVD・CDを再生する

ご注意

ご注意

■ 安全にお使いいただくために

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

・この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

△記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

絵表示の意味

 • 必ず指示に従い、行なってください。

 • 絶対に行なわないでください。

 • 絶対に触れないでください。

 • 絶対に濡らさないでください。

 • 注意してください。

 • 破裂に注意してください。

 • 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 • 絶対に分解/修理はしないでください。

 • 絶対に水場では使用しないでください。

 • 絶対に濡れた手で触れないでください。

 • 高温に注意してください。

 • 指をはさまないよう注意してください。

おことわり

・製品本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

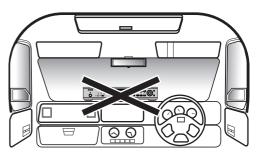
⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用禁止

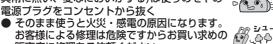
本機は車載用ではありませんので、お車の中ではご使用にならないでください。また、自動車内に放置しないでください。

- 車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因になります。
- 市販されている電源コンバーターなどや、お車に付いているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用禁止

プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。お客様による修理は危険ですからお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

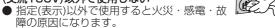
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機が破損した場合電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

交流100V

本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

- 指定(表示)以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

ほこりをとる

電源プラグのほこりなどはとる

- 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

水濡れ禁止

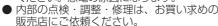
水場での使用禁止

本機を水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない

- 海岸・水区や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

改造・分解禁止

本機を改造または分解をしない

- 裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグにふれない

- 落雷すると誘導電雷により感電することがあります。

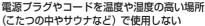
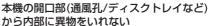
禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

- 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

電源プラグやコードを温度や湿度の高い場所(こたつの中やサウナなど)で使用しない

- 感電や火災の原因になります。

本機の開口部(通風孔/ディスクトレイなど)から内部に異物をいれない

- 金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりすると火災・感電の原因になります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

- 故障の原因となることがあります。

本機の上に水などの入った容器を置かない(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)

- こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない

- 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因になります。
- 時々点検をしてください。

電源コードを正しく使用する
・束ねない・延長・固定しない
・タコ足配線しない

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。
- タコ足配線すると発熱し火災・故障の原因になります。

電源コードを傷つけない
・破損させない・加熱しない
・引っぱらない・加工しない
・切断しない・ねじらない
・曲げない・重いものをのせない

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

DVDプレーヤーのピックアップから出るレーザー光線を直接見たり体に浴びない

- 失明や火傷をするおそれがあります。

本機は国際規格 IEC 60825 に準ずるクラス1レーザー製品です。

注意

電源プラグやコードは乳幼児に触れさせない

- 電源プラグやコードは小さなお子様の手の届くところに放置しないようご注意ください。
- 感電の原因となることがあります。

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、芯線の露出、断線など)は電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

ご注意

ご注意

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く
- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く
- そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。
- ディスクは取出しておいてください。

次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく
・長時間外出するとき
・旅行をするとき
- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

正しく入れる

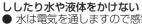
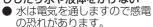
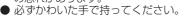
乾電池は正しく挿入する
・プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる
- 誤って挿入すると破裂・液もれによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

掃除

年に一度くらいは本機内部の掃除を依頼する
- 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

海水や塩害に注意
- 海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。

濡れ手禁止　水濡れ禁止　禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない
- 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

設置禁止

本機を次のような場所に置かない
・湿気やほこりの多い場所　・テレビの近く
・油煙や湯気が当たる場所
・熱器具の近く
・直射日光の当たる場所
・押し入れや本棚など風通しの悪い場所
・閉めきった自動車内など高温になるところ
- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

禁止

電源コードを引き回さない
- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

電源コードを引っ張らない
- 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない
- 発煙や発火の原因となります。

本機の上に重いものを置かない、乗らない
- バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機の通風孔をふさがない
・風通しの悪い狭い場所に置かない
・じゅうたんや布団の上に置かない
・テーブルクロスなどをかけない
- 内部に熱がこもり火災の原因になります。

指定されていない電池は使用しない
・新しいものと古いものを混ぜて使わない
・種類の異なるものを混ぜて使わない
- 指定以外のものを使用すると破裂・液もれにより火災・けがの原因となることがあります。

ガラスドア付ラックに入れたときは、ガラスドアを閉めたままリモコンのオープン/クローズボタンを押さない
- 故障の原因になることがあります。

再生中は本機を絶対に動かさない
- 再生中はディスクが高速回転していますので、本機を動かすと、中のディスクを傷つけたり、破損するおそれがあります。

高温注意

電源コードを熱器具に近付けない
- コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

注意

指をはさまれないように注意
- 小さなお子様がディスクトレイから手を入れなようご注意ください。
- けがの原因となることがあります。

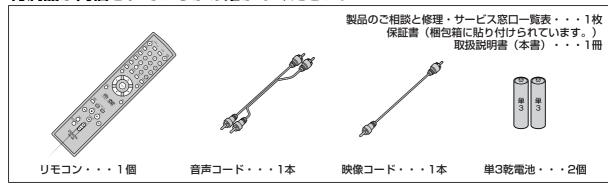
破裂注意

乾電池の取扱いに注意
・ショートさせない　・分解・加熱をしない
・火の中に投入しない
- 破裂したりする危険があります。

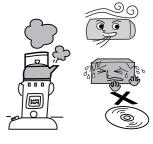
お使いになる前に

付属品が同梱されているかお確かめください。

製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表・・・1枚
保証書（梱包箱に貼り付けられています。）
取扱説明書（本書）・・・1冊

リモコン・・・1個　音声コード・・・1本　映像コード・・・1本　単3乾電池・・・2個

■ 結露（つゆつき）について

- **結露が発生した場合はディスクを本機に挿入しないでください。（本機を傷めてしまいます。）**
  結露が発生しているときに、ディスクを本機に挿入された場合、ディスク信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。
- **本機はよく乾燥した状態でお使いください。**
  結露が発生した場合、電源プラグをコンセントへ差し込み、**約1～2時間乾燥するまで**放置した上で本機をご使用ください。

■ 結露とは…
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「**結露**」(またはつゆつき)と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のピックアップレンズやディスクに水滴が付きます。乾燥させないかぎり、本機はご使用にならないでください。
■ **次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。**
・本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき　・急に部屋を暖房したとき
・エアコンなどの冷風が直接当たるところ　・湿気の多いところ

■ ディスクの取り扱い

- 再生面(虹色に光っている面)に触れないようにディスクの端を持ってください。
- 紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)
- 使用後は、**所定のケースに入れて、保管してください。**ケースにいれずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。
- 指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。
- お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のロゴマークが付いたディスクをご使用ください。詳しくは[➡ 9ページ]をご覧ください。

Kodak Picture CD COMPATIBLE

- ハート形や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

■ プレーヤーの置き場所や取り扱い

- 本機の上に、テレビなど重いものを置かないでください。画面にノイズが出たりキャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- 不安定な場所や振動の多い場所、ほこりの多い場所には置かないでください。故障や事故の原因となります。
- 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。
- 長期間ご使用にならないときは、ディスクを取り出し電源を切ってください。

お使いになる前に

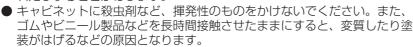
■ 移動させるときは

- 床などを傷つける恐れがありますので、引きずらないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- 必ずディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してから移動させてください。

■ お手入れについて

キャビネットは…

中性洗剤

- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

■ リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めに従って梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制に従って処分してください。

■ 著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
- **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
- 本機はマクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要です。同社の認可がない限り、一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析（リバースエンジニアリング）または改造することも禁止されています。

■ この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD-V　DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。（本文ではDVDビデオと表現します。）

DVD-A　DVDオーディオディスクで楽しめる機能を表します。（本文ではDVDオーディオと表現します。）

CD　音楽用CDで楽しめる機能を表します。（本文では音楽用CDと表現します。）

SUPER AUDIO CD　SUPER AUDIO CDで楽しめる機能を表します。（本文ではスーパーオーディオCDと表現します。）

VCD　ビデオCDで楽しめる機能を表します。（本文ではビデオCDと表現します。）

MP3　MP3が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

WMA　WMA（Windows Media Audio）が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

JPEG　JPEGが記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

あどばいす　操作上、気を付けていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行っています。

■ 再生できるディスク

本機では、下表のディスクを再生できます。

【DVDビデオディスク】

本機は、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどのほかの方式で、記録されたディスクは再生できません。
また、ディスクには下記の様なリージョン番号が表示されます。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの内容	ディスクの大きさ
DVDオーディオ <*1>	DVD AUDIO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 (MPEG2方式)	12cm盤
DVDビデオ <*1>	DVD VIDEO / DVD VIDEO リージョン番号 2 ALL 左記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク		
DVD-R <*2>	DVD R / DVD R		8cm盤
DVD-RW <*2>	DVD RW / DVD RW		
スーパーオーディオCD	SUPER AUDIO CD / Stereo Multi-ch	デジタル音声	12cm盤
ビデオCD <*1> NTSC方式のビデオCD	VIDEO CD / COMPACT disc DIGITAL VIDEO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 (MPEG1方式)	12cm盤 8cm盤
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声 MP3 デジタル画像 (JPEG方式) WMA(ver.8対応) <*4>	12cm盤
CD-R <*3>	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc Recordable		
CD-RW <*3>	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc ReWritable		8cm盤
ピクチャーCD	Kodak Picture CD COMPATIBLE	デジタル画像 (JPEG方式)	12cm盤

<*1> DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。

<*2> 本機はDVDレコーダでビデオフォーマット記録されたDVD-R/RWディスクを再生することができます。なお、ディスクの記録状態によってはディスクを受け付けなかったり、映像や音声が途切れるなど正常に再生できないことがあります。また、ファイナライズしていないディスクやVRモード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたディスクは再生できません。

<*3> CD-R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

<*4> Plays Windows Media™
Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ディスクレーベル面に上記ロゴマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また再生できた場合であっても、画質・音質の保証は致しかねます。

下記のディスクは再生できません。

- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD　● DVD-ROM
- CD-ROM(MP3形式以外のもの)　● VSD　● CDV　● CD-G　● DVD-RAM
- CD-R/RW(音楽用データ以外のもの)　● CD-I　● フォトCD　など
- 特殊な形状のディスク(ハート形など)（故障の原因となります。）

■ 8cmアダプター(音楽用CD用)は使わないでください。故障の原因となります。

※CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。
特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

"Kodak Picture CD COMPATIBLE"は、Eastman Kodak Companyの登録商標です。

"WMA" (Windows Media Audio)は、米国マイクロソフト社の開発した新しいオーディオコーデックです。

■ ディスク表示について

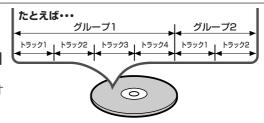
DVDビデオソフトに記載されている表示をご確認のうえお楽しみください。

表示	機能説明
・**リージョン番号（再生可能地域番号）を表しています。** 2　ALL	・本機は、「リージョン番号」が「ALL」または「2」の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・**DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。**	・本機を接続するテレビの種類（ワイドテレビや4：3のテレビ）に応じた画面サイズが選べます。
4:3	・4：3の画面サイズで記録されています。
16:9 LB	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは上下に黒いバーつき（レターボックス）サイズ画像を楽しめるように記録されています。
16:9 PS	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは左右をカットした4：3の画像を楽しめるように記録されています
・**字幕の種類を表しています。** 例：2　1：日本語 字幕 2：英語 字幕	・リモコンの字幕ボタンまたは、再生設定画面でお好みの字幕が選べます。
・**DVDビデオディスクに記録されているアングル数**（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像）**を表しています。** 例：2	・リモコンのアングルボタンまたは、再生設定画面でお好みのアングルが選べます。
・**音声トラック数や音声記録方式を表しています。** 例：4 音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド） 音声2：日本語（ドルビーサラウンド） 音声3：ドルビーデジタル（ステレオ） 音声4：リニアPCM音声	・DVDビデオディスクに記録されている音声をリモコンの音声ボタンで切り換えることができます。

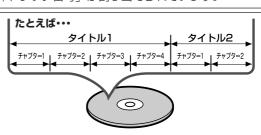
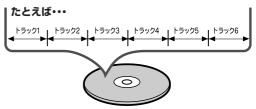
■ ディスクの構成

DVD-A

DVDオーディオディスクは、「グループ」と「トラック」で構成されています。

- グループとは、例えば複数の音楽アルバムが入っているDVDオーディオディスクで各アルバムをさします。トラックとは各曲をさします。
- 「グループ」と「トラック」にはそれぞれ「グループ番号」と「トラック番号」が割り当てられています。

DVD-V

DVDビデオディスクは、「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。

- タイトルとは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。
- チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

音楽用CD
ビデオCD
スーパーオーディオCD

■ 音楽用CDやビデオCDは、「トラック」に区切り構成されています。

- トラックとは、例えば複数の音楽が入っている音楽用CDやビデオCDで各曲ごとをさします。
- プレイバックコントロール（PBC）
  「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
  本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの「メニュー再生」と呼びます。
  本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

ご注意

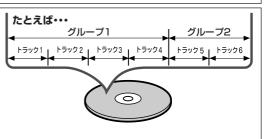
- PBC対応ソフト再生時は、PBC機能が優先され、DVDプレーヤー側の設定（希望するところからの再生やリピート再生）は、PBC機能を一時的に解除しない限りできません。

PBC機能の解除と復帰の方法

1. ビデオCDをトレイにセットする
   ●自動的に再生が始まります
2. STOP ■ を押す
3. 数字ボタンを押すとPBC機能が解除され、選択したトラックが再生されます
4. PBC機能を復活させるには、STOP ■ を2回押した後、を押します
   ●PBC機能が復活し、タイトルメニューが画面上に表示されます

CD-R/RW(MP3、JPEG、WMAファイル形式)

MP3のデータは「トラック」と「グループ」に区切り構成されています。MP3についての詳細は、51ページをご覧ください。

- トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。
- グループとは、いくつかの「トラック」をまとめたものをさします。

お使いになる前に

■ おもな特長

スーパーオーディオCDマルチチャンネル再生対応 [➡ 49ページ]
- DVDオーディオ/ビデオの再生に加え、スーパーオーディオCD（100kHzをカバーする再生周波数範囲を持つ、原音に極めて近い音を再現するCD）のマルチチャンネルディスク再生に対応。最大5.1chの出力が可能です。

プログレッシブ [➡ 19ページ]
- 接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレススキャン方式よりちらつきの少ない高密度の映像を楽しむことができます。

ドルビーデジタル、DTSデコーダー搭載 [➡ 21ページ]
- ドルビーデジタルとDTSデコーダーを内蔵。AVアンプやスピーカーと組み合わせて、映画館やホールにいるような臨場感を楽しめます。

早送り、早戻し、一時停止（静止）、コマ送り再生、スロー再生 [➡ 31ページ]
- 早送り再生、早戻し再生、静止画、コマ送り再生、スロー再生などの再生ができます。

ランダム再生 [➡ 35、55ページ]
- 本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

プログラム再生 [➡ 34、54ページ]
- 本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

ディスクメニュー言語切りかえ [➡ 60ページ]
- DVDソフトに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

自動電源オフ機能
- 初期設定でオートパワーオフ機能を[オン]に設定した場合、静止状態で35分間入力がないと、電源が自動的に切れます。

希望する言語で字幕を表示 [➡ 45、60ページ]
- 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➡ 46ページ]
- 異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➡ 43〜44、65〜67ページ]
- 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

視聴制限設定 [➡ 70〜71ページ]
- パレンタルレベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を、制限することができます。

ディスクの自動判別
- DVDソフト、音楽用CD及びMP3を自動的に判別して再生します。

MP3/JPEG/WMA再生 [➡ 51ページ]
- CD-RやCD-RWに記録されたMP3/JPEG/WMAファイルを再生することができます。

バーチャルサラウンド [➡ 48ページ]
- バーチャル(疑似)サラウンドを楽しむことができます。

画面表示 [➡ 56〜57ページ]
- 各時点で行っている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

サーチ [➡ 36〜42ページ]
- チャプターサーチ：
  ユーザーが指定したチャプターでサーチすることができます。
- タイトルサーチ：
  ユーザーが指定したタイトルでサーチすることができます。
- トラックサーチ：
  ユーザーが指定したトラックでサーチすることができます。
- タイムサーチ：
  ユーザーが指定した時間でサーチすることができます。
- グループサーチ：
  ユーザーが指定したグループでサーチすることができます。
- ボーナスグループサーチ：
  ボーナスグループが記録されているDVDオーディオディスクを再生します。

リピート [➡ 32〜33ページ]
- チャプター、タイトル、トラック：
  再生中のディスクのチャプター、タイトル、トラックを繰り返して再生することができます。
- オール（音楽用CD、MP3）：
  再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- A-B：
  ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。
- グループ：
  MP3、WMA、JPEG、DVDオーディオで再生中のフォルダを繰り返して再生することができます。

ズーム [➡ 47ページ]
- 2倍または4倍に拡大した画面を表示させることができます。

つづき再生(リジューム機能) [➡ 27ページ]
- 再生をストップした位置から再生することができます。

ビットレート表示 [➡ 56ページ]
- ディスクの画像情報量を示します。

DRC [➡ 66ページ]
- 音量範囲をコントロールします。

マーカー [➡ 50ページ]
- ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

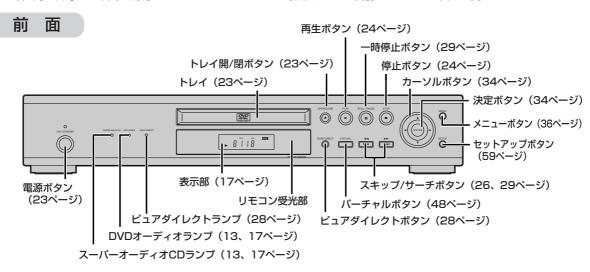
LPCM変換 [➡ 67ページ]
- 96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに設定することができます。

ピュアダイレクト機能 [➡ 28ページ]
- ビデオ信号出力を止めることによって、より忠実な音声を再生する機能です。

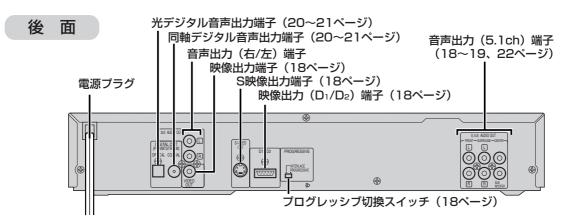
P-offレジューム [➡ 27ページ]
- 電源を切っても、つづきから再生することができます。

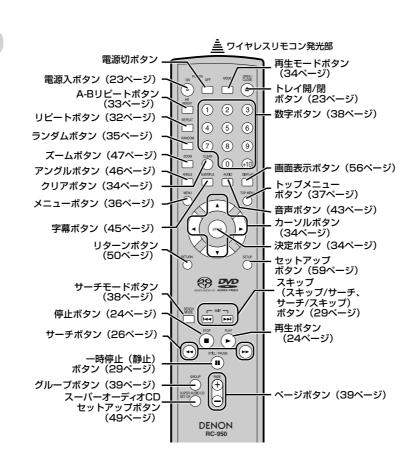
■ 各部の名称と機能説明

（ ）内の番号は、本文で説明しているおもなページです。操作ボタンの機能については、表をご覧ください。

前　面

● 本体前部

	各部の名称	機能説明
英字	DVDオーディオランプ	DVDオーディオディスクフォーマットで録音されたディスクが再生されると点灯する
あ	一時停止ボタン	再生の一時停止/コマ送りをする
か	カーソルボタン (4方向)	初期設定やプログラム再生、カーソルの移動や項目の切り換え
	決定ボタン	選択した項目を確定
さ	再生ボタン	ディスクの再生
	スーパーオーディオCDランプ	スーパーオーディオCDが再生されると点灯する
	スキップ/サーチボタン	通常押し：チャプター(トラック)の頭出し 押しつづける：早送り/早戻し再生
	セットアップボタン	設定を変更するときに使う
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	電源ボタン	電源を「入」「切」する
	トレイ	ディスクをセット
	トレイ開/閉ボタン	トレイの開/閉
は	バーチャルボタン	バーチャルサラウンドを「入」「切」する
	表示部	−−−−−
	ピュアダイレクトボタン	ビデオ信号出力を止めることによって、忠実な音声を再生
	ピュアダイレクトランプ	ピュアダイレクト機能が作動すると点灯する
ま	メニューボタン	DVDのディスクメニュー画面を表示する

後　面

● 本体後部

	各部の名称	機能説明
英字	S映像出力端子	S端子付きTVとの接続
あ	映像出力（D1/D2）端子	D端子付きTVとの接続
	映像出力端子	TVの接続
	音声出力（右/左）端子	アナログオーディオ用予備端子（スーパーオーディオCD、DVDオーディオの音声は出力されません）
	音声出力（5.1ch）端子	5.1チャンネルサラウンドサウンドシステムとの接続
た	電源プラグ	AC100Vのコンセントに差し込む
	同軸デジタル音声出力端子	デジタル端子付きアンプとの接続
は	光デジタル音声出力端子	デジタル端子付きアンプとの接続
	プログレッシブ切換スイッチ	プレグレッシブスキャン方式対応テレビとの接続

リモコン

● リモコン操作ボタン

	各部の名称	機能説明
英字	A-Bリピートボタン	A点からB点を繰り返し再生
あ	アングルボタン	アングル(角度)の切り換え
	一時停止（静止）ボタン	再生の一時停止（静止）/コマ送りをする
	音声ボタン	音声(言語)の切り換え
か	カーソルボタン (4方向)	初期設定やプログラム再生、カーソルの移動や項目の切り換え
	画面表示ボタン	ディスクの情報を画面に表示する
	クリアボタン	設定した内容を元に戻す
	グループボタン	再生するグループを選択します
	決定ボタン	選択した項目を確定
さ	◀◀ ▶▶ (サーチ) ボタン	早送り/早戻し再生
	サーチモードボタン	お好みの位置の検索
	再生ボタン	ディスクの再生
	再生モードボタン	• プログラム/ランダム再生画面に切り換える • バーチャルサラウンドの設定
	字幕ボタン	字幕(言語)の切り換え
	スーパーオーディオCD セットアップボタン	スーパーオーディオCDの再生エリアを設定する
	ズームボタン	再生画像の一部を拡大
	数字ボタン	各設定、選択などに使う
	スキップ（スキップ/サーチ）ボタン	チャプター（トラック）の頭出し（送り）
	セットアップボタン	設定を変更するときに使う
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	電源入ボタン	電源を「入」にする
	電源切ボタン	電源を「切」にする
	トップメニューボタン	DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示する
	トレイ開/閉ボタン	トレイの開/閉
は	ページボタン	DVDオーディオのブラウザブル静止画でページを切り換える
ま	メニューボタン	DVDビデオのディスクメニュー画面を表示する
ら	ランダムボタン	DVDビデオ、ビデオCD以外のディスクをランダム再生する
	リターンボタン	１つ前の設定画面に戻る
	リピートボタン	タイトル/チャプター、トラックの繰り返し再生

タテ置きではご使用にならないでください

お使いになる前に

はじめに

■ リモコン乾電池の入れかた

1

リモコン裏側の
フタをはずす

2

乾電池を入れる

●(+)(−)を確かめる
●(−)側を先に入れる

3

フタを付ける

■ リモコンの操作方法について

センサーにむけて
操作してください。

受信許容範囲

距離
本体正面より7メートル以内

角度
本体正面より左右30度以内、
上下15度以内

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっている為に、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被服（外枠の被服がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被服がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

あどばいす

- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。（※付属の乾電池は動作確認用です。）
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- リモコンには単 3 乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約 1 年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池を入れるときは、リモコン乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側、⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので
  - ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入したりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときには、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

■ 本製品の機能操作について

本機はメニュー画面(図1)等に従い、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※以下（23ページ）の説明において、リモコン主体とした説明となります。

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・メニュー画面を呼び出す	メニュー	MENU
・セットアップ画面を呼び出す	セットアップ	SETUP
・選択項目の移動	カーソル	▲ ◀ ▶ ▼
・選択項目の確定	決定	ENTER
・項目の戻り	リターン	RETURN
・プログラム画面切り換え	モード	MODE

図1 セットアップ画面
(テレビ画面)

図2 リモコン 操作ボタン

■ 表示部について

本体前面

ON / STANDBY　SUPER AUDIO CD　DVD AUDIO　PURE DIRECT　OPEN/CLOSE　PLAY　STILL / PAUSE　STOP　MENU　PURE DIRECT　VIRTUAL　ENTER　SETUP

TITLE　CHP.　TRK.　REPEAT　A – B　DVD　VCD　PBC

DVDソフトがトレイに入っているときに点灯します。DVDオーディオ再生時は、同時にDVDオーディオランプも点灯します。

入っているディスクが一時停止状態になると点灯します。

プレイバックコントロール付きビデオCDがトレイに入っているときに点灯します。

入っているディスクが再生されているときに点灯します。

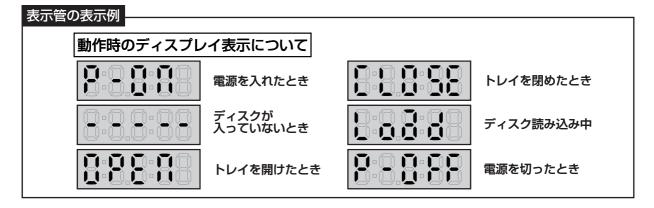
CD：CDがトレイに入っているときに点灯します。
　　スーパーオーディオCD再生時は、同時にスーパーオーディオCDランプも点灯します。
VCD：ビデオCDがトレイに入っているときに点灯します。

A-Bリピート機能がONになっているときに点灯します。

リピート機能がONになっている間は点灯したままです。

現在再生されているディスクの経過時間を表示します。チャプターかトラックを切り替えると、新しいタイトル、チャプターまたはトラックの番号が表示されます。（サーチモードのとき、またはスキップアップボタンかスキップダウンボタンを押したとき表示します。）

本機の表示管は時刻の表示はできません

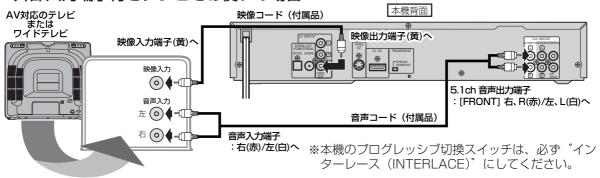
詳しい再生情報の確認はテレビ画面で行ってください。
詳しくは56ページをご覧ください。

接続について

■ テレビとの接続

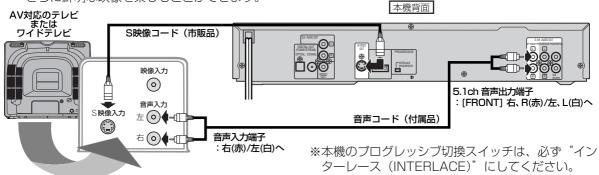
● 接続を始める前に…

・本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
・接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
・テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

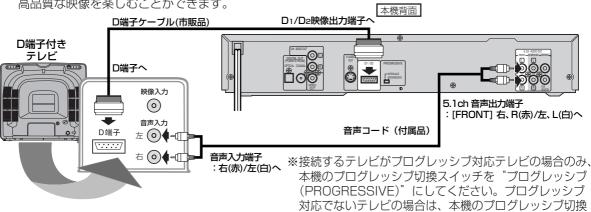
外部入力端子付きテレビをお使いの場合

※本機のプログレッシブ切換スイッチは、必ず“インターレース（INTERLACE）”にしてください。

S映像入力端子付テレビをお使いの場合

・黄色の映像コードで接続する代わりに市販のS映像コードを使用して接続します。
さらに鮮明な映像を楽しむことができます。

※本機のプログレッシブ切換スイッチは、必ず“インターレース（INTERLACE）”にしてください。

D端子付テレビをお使いの場合

・黄色の映像コードで接続する代わりに市販のD端子ケーブルを使用して接続します。
高品質な映像を楽しむことができます。

※接続するテレビがプログレッシブ対応テレビの場合のみ、本機のプログレッシブ切換スイッチを“プログレッシブ（PROGRESSIVE）”にしてください。プログレッシブ対応でないテレビの場合は、本機のプログレッシブ切換スイッチを必ず“インターレース（INTERLACE）”にしてください。

あどばいす

・テレビのコンポーネント（色差）入力端子がY,C_B/P_B,C_R/P_Rのピンジャックタイプのときは、市販品のコンポーネントビデオケーブル（D-ピンプラグ×3）をご使用ください。
・2ch音声出力端子に接続した場合、DVDオーディオとスーパーオーディオCDの音声は出力されません。

D端子とは？

D端子を備えたテレビやモニターに接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。D1/D2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D端子ケーブル(市販品)を使って、D映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で簡単に接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。

D端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

プログレッシブ切換スイッチの設定(工場出荷時は“インターレース(INTERLACE)”)

接続するテレビに合わせてスイッチを正しく設定してください。

プログレッシブスキャン方式(525p/480p)対応テレビを本機のD端子を使って接続している場合のみ、スイッチを“プログレッシブ（PROGRESSIVE)”に合わせてください。また、このときはテレビをプログレッシブモードに設定してください。

通常のテレビ(プログレッシブスキャン方式対応でないテレビ)をお使いの場合や、プログレッシブスキャン方式対応テレビを本機のD端子を使わずに接続している場合は、スイッチを必ず“インターレース（INTERLACE)”に合わせてください。(“プログレッシブ（PROGRESSIVE)”にすると、本機の映像出力端子やS映像出力端子から映像信号が出力されないため、DVDビデオの再生画像を見ることができません。)

プログレッシブスキャン方式とは？

プログレッシブスキャン方式では従来方式のインターレススキャン方式に対して、よりちらつきの少ない高密度の画像をお楽しみいただけます。

接続

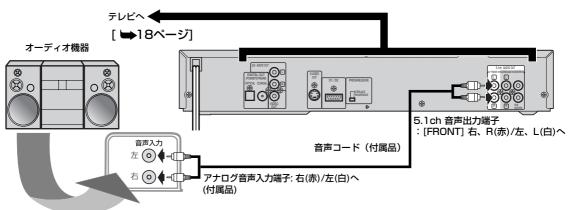
あどばいす

- ワイドテレビ(16:9)に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。[➡ 63 ～ 64ページ]
- 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを間に挟んでテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

- 本機はハイビジョン対応のコンポーネント(Y, PB, PR)映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。(映像は写りません。)

■ アナログオーディオ機器との接続

● 接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

あどばいす

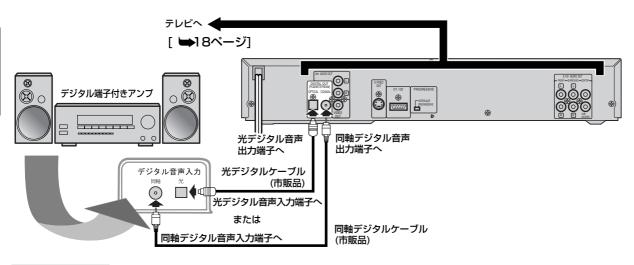
- スーパーオーディオCDとDVDオーディオは、2ch音声出力（R/L）端子からは出力されません。5.1ch音声出力端子に接続してください。

接続について

■ デジタル入力端子付きアンプとの接続

● 接続を始める前に…

・本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
・接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
・接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

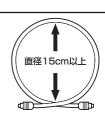
デジタル入力端子付きアンプとの接続には、同軸デジタルケーブル(市販品)または光デジタルケーブル(市販品)をご利用ください。

あどばいす

・正しくない設定でDVDソフトを再生すると、音が歪みスピーカーが壊れることがあります。[➥ 65 ～ 67ページ]
・ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
・コピープロテクトのあるディスクは、デジタル音声出力されません。
・スーパーオーディオCDでは、デジタル音声を出力することができません。5.1ch音声出力端子に接続してください。

光デジタル音声出力端子について

光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、また他の外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

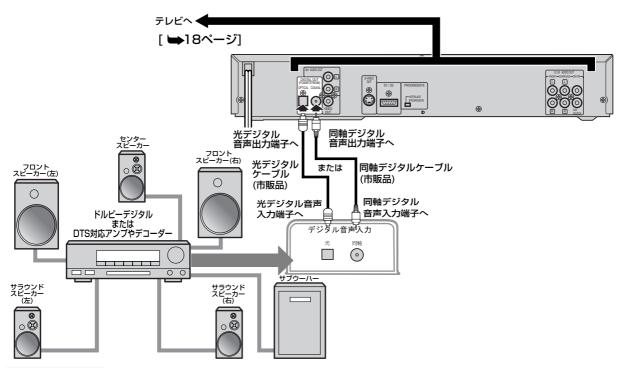
光デジタルケーブルについて

光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
長さは3m以下のものを使用してください。
プラグにほこりがある場合には、柔らかい布で拭いてから接続してください。

■ ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーとの接続

● 接続を始める前に…

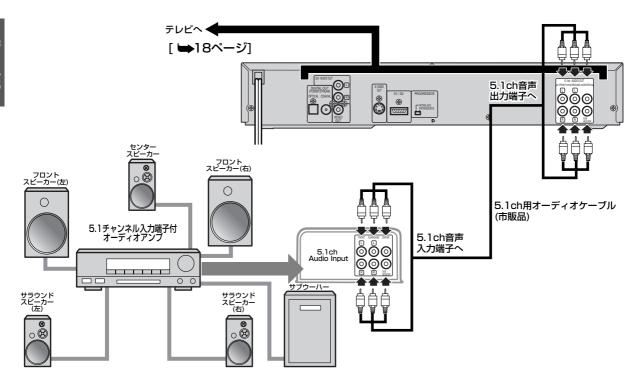
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ドルビーデジタルサラウンド、またはDTSデジタルサラウンドフォーマットのDVDソフトを再生するときには、ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンドサウンド音声をお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）、または光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

あどばいす

- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、音声設定の[ドルビーデジタル]を[オン]にしてください。
  [➡ 65 ～ 67ページ]
- DTS対応アンプやデコーダーに接続する場合には、音声設定の[DTS]を[オン]にしてください。
  [➡ 65 ～ 67ページ]
- ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、音声設定の[ドルビーデジタル]と、[DTS]を[オフ]にしてください。(工場出荷時はドルビーデジタルは[オン]、DTSは[オン])
  正しくない設定でDVDソフトを再生すると音が歪みスピーカーが壊れることがあります。[➡ 65 ～ 67ページ]
- スーパーオーディオCDではデジタル音声を出力することはできません。

■ 5.1チャンネルサラウンドサウンドシステムとの接続

● 接続を始める前に…
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

アナログ5.1チャンネル音声信号を本機から出力できます。
PCMで記録されたマルチチャンネル音声信号とマルチチャンネルスーパーオーディオCDは、アナログ5.1チャンネル音声入力対応のAVアンプが接続されているときに再生できます。

あどばいす

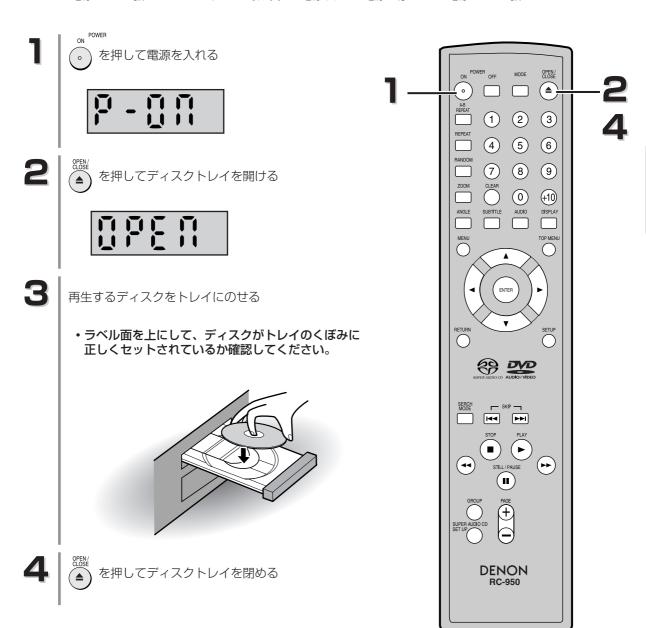
- スーパーオーディオCDは、5.1ch音声出力端子からのみ出力されます。

DVD・CDを再生する

■ DVD、音楽用CDの再生　DVD-V　DVD-A　CD　SUPER AUDIO CD　VCD

● 再生を始める前に…

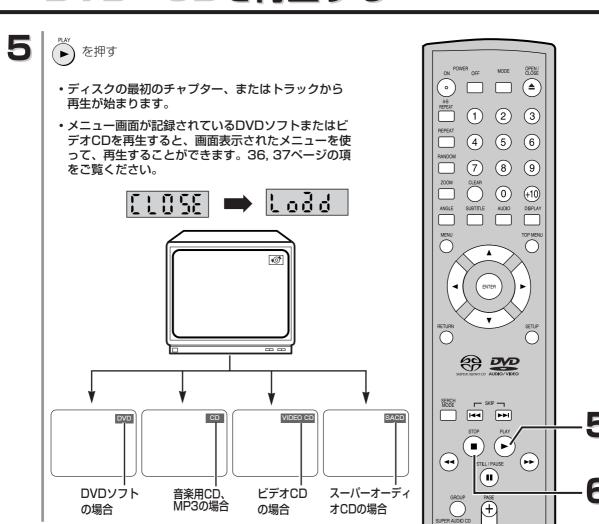
- テレビ、アンプ、その他、このDVDプレーヤーに接続されている機器の電源をすべて入れます。（入力方式をこのDVDプレーヤーに適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。）
- ディスク走行中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、電源ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

あどばいす

- 片面記録ディスクが裏表逆になっていると、ディスクを傷つける恐れがあります。必ず裏表を確認の上、ご使用ください。
- 電源「切」の状態でも、トレイ開閉ボタンを押すと電源が入り、トレイが開きます。
- 2層ディスクの再生中に映像が一瞬とまることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。

→次ページへつづく

DVD・CDを再生する

5 PLAY ▶ を押す

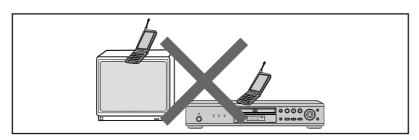
- ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。
- メニュー画面が記録されているDVDソフトまたはビデオCDを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。36, 37ページの項をご覧ください。

6 再生をやめるとき、STOP ■ を押す

画面に下記の表示が出た場合は、70ページをご覧ください。

ディスクエラー	リージョンエラー	パレンタルエラー
‒‒ディスクを取り出してください。‒‒ 再生可能なディスクを挿入してください。	‒‒ディスクを取り出してください。‒‒ この地域での再生は禁止されています。	‒‒ディスクを取り出してください。‒‒ 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。

あどばいす

・本機の動作中にテレビ画面の右上隅に「禁止アイコン」が表示されることがあります。これは、禁止されている操作がDVDプレーヤーかディスクに対して行われていることを警告するためのものです。

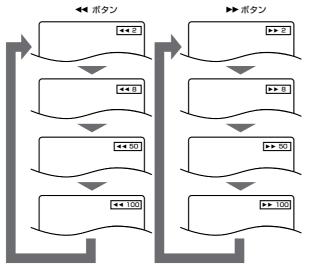
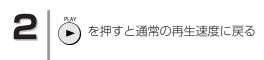
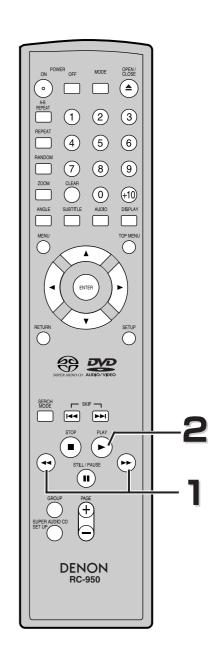
・ディスクに汚れや傷があると、画像がゆがんで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源プラグをいったん抜き取り、プラグを差し込みなおしてから再生を再開してください。
・再生プログラム信号が備わっているDVDソフトの場合は、2番目のタイトルから再生が始まったり、タイトルを飛ばして再生をすることがあります。
・携帯電話をご使用になる時はテレビやDVDプレーヤーに近づけないでください。音声に異音が入ったり、テレビにノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、テレビにノイズが出たりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

■ 早送り／早戻しをする DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA

1 再生中に ▶▶ か ◀◀ を押す

(DVDソフトの音声は出ません。)

- DVDビデオ、DVDオーディオの場合は ▶▶ か ◀◀ を押すたびに、再生速度は2倍、8倍、50倍、100倍の4段階に変わります。
- 音楽用CD、スーパーオーディオCDの場合は、再生速度は16倍に固定されています。
- MP3やWMAの場合、再生速度は8倍に固定されています。
- ビデオCDの場合、再生速度は2倍、8倍、30倍の3段階に変わります。

- 本体で操作するときは、スキップボタン（ ⏮ または ⏭ ）を好みの再生速度が表示されるまで押します。

2 PLAY ▶ を押すと通常の再生速度に戻る

あどばいす

- 画面に表示される早送り/早戻しの速度表示は目安です。ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。
- タイトルからタイトルの早送り/早戻しはできません。

再生

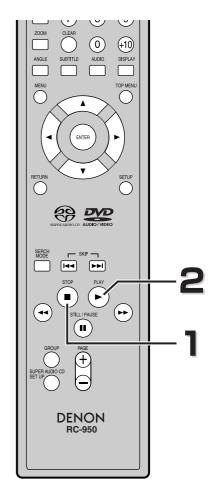
■ 続きから再生する（リジューム機能） DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD

1 再生中に STOP (■) を押す

- 再生が停止し、次いで画面中央に「再開メッセージ」が表示されます。

2 PLAY (►) を押す

- 停止した位置から、続けて再生されます。

あどばいす

- 電源を切ってもつづき再生の情報は消えません。
- 次のような操作をした場合、つづき再生はできなくなります。
  - STOP (■) を2回押す
  - ディスクトレイを開く

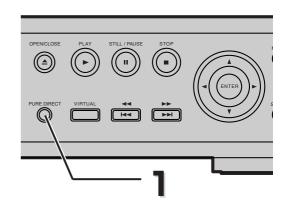
■ ピュアダイレクト機能

ビデオ信号出力を止めることによって、より忠実な音声を再生することができます。

1 再生または停止中に本体前面の

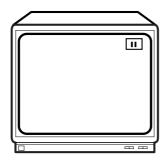
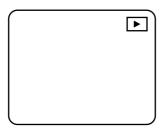
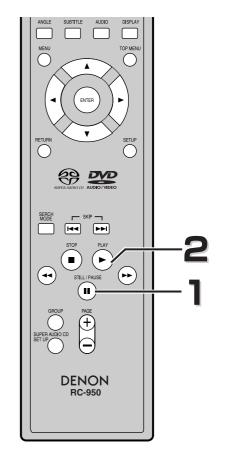
を押す

- ピュアダイレクトランプが点灯します。
- より高品質な音声が得られます。

あどばいす

- セットアップメニューではピュアダイレクト機能は利用できません。
- 以下のボタンを押すと、ピュアダイレクト機能は解除されます。
  ・セットアップボタン　・トレイ開/閉ボタン（本体・リモコン）　・電源切ボタン　・画面表示ボタン（リモコン）
  ・電源ボタン　・ピュアダイレクトボタン（本体前面）

■ 一時停止（静止） DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD MP3 WMA JPEG VCD

1 再生中に STILL / PAUSE を押す

- 再生が一時停止し、音声は消音となります。
- DVDビデオ、ビデオCD、JPEGは静止画再生となります。
- 音楽用CD、スーパーオーディオCD、MP3、WMAは一時停止となります。

2 再生を再開するには PLAY を押す

■ チャプターやトラックを頭出しする（スキップ）

DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD MP3 WMA JPEG VCD

1 再生中に ►►I か I◄◄ を押す

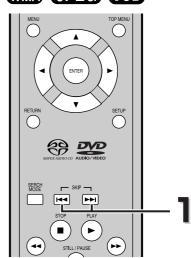
- DVDビデオは、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。
- DVDオーディオ、ビデオCD、JPEG、音楽用CD、スーパーオーディオCD、MP3、WMAの場合は、トラックの頭出しができます。

►►I — 次のチャプターを頭出しします。

または

I◄◄ — 現在のチャプターを頭出しします。
さらに押すと前のチャプターに戻ります。

あどばいす

- ディスクによってはスキップ操作が禁止されている場合があります。
- 再生中に ►►I を押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばし、次のトラックが再生されます。 I◄◄ を一回押すと、再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。 I◄◄ を続けて2度押すと一つ前のトラックに戻ります。

DVD・CDを再生する

■ コマ送り再生　DVD-V　DVD-A　VCD

1 再生中に STILL / PAUSE を押す

2 一時停止中に STILL / PAUSE を押す

• ボタンを押すたびに、音声は消音されたまま、コマ送りされます。

3 再生を再開するには PLAY を押す

再生

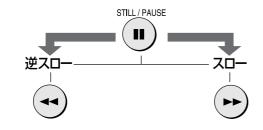
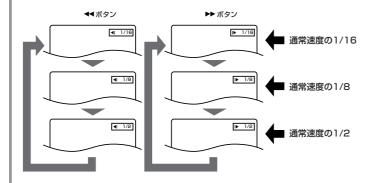
あどばいす

• DVDオーディオは、動画の部分のみコマ送り再生できます。
• 本機はコマ戻しできません。

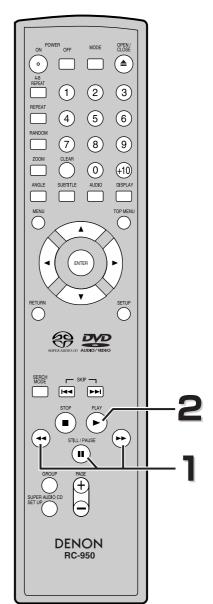
■ スロー再生 DVD-V DVD-A VCD

1 再生を一時停止している間に ▶▶ か ◀◀ を押す

（音声は消音のままです。）

- スローモーションモードで再生が行われます。
- ▶▶ か ◀◀ を押すたびに3段階に再生速度が変わります。画面に表示されている速度を見ながらお好みの速度を選択します。

- 本体で操作するときは、スキップボタン（ ⏮ または ⏭ ）を好みの再生速度が表示されるまで押します。

2 PLAY ▶ を押すと通常の再生速度に戻る

あどばいす

- ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。
- DVDオーディオは動画部分のみスロー再生ができます。
- ビデオCDは逆スロー再生できません。

再生

DVD・CDを再生する

■ 繰り返し再生（リピート再生）

DVD-V　DVD-A　CD　SUPER AUDIO CD　MP3　WMA　JPEG　VCD

1　再生中に REPEAT を押す

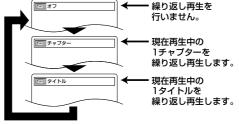
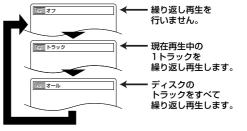
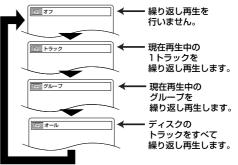
DVDビデオの場合

- １つのタイトルまたはチャプターを、繰り返し再生します。
- REPEAT を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CD、スーパーオーディオCD、ビデオCDの場合

- ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
- REPEAT を押すと画面上で“オフ”、“トラック”、“オール”の表示が右図のように切り換わります。

MP3、WMA、JPEG、DVDオーディオの場合

- グループまたは1つのトラック、ディスク全体が繰り返し再生されます。
- REPEAT を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

プログラム/ランダム再生中に REPEAT を押し、“オール”にするとプログラム/ランダム再生が繰り返し実行されます。（音楽用CD：34、35ページ／MP3、WMA、JPEG：54、55ページ）

あどばいす

- ディスクによっては、繰り返し再生ができないものがあります。
- “リピート”の設定をした後、他のタイトル、チャプター、トラックにサーチさせると、この設定は消去されます。
- リピート設定をしても、タイトル、チャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るディスクがあります。

■ 繰り返し再生（A-Bリピート再生）

DVD-V　DVD-A　CD　SUPER AUDIO CD　VCD

選択したセクションを繰り返し再生するように、設定することができます。

1 再生中に繰り返し再生の開始点にしたい個所で

を押す

- **開始ポイント（A）が選択されます。**

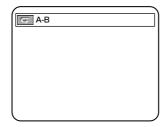
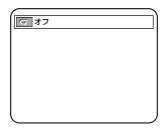
2 リピート再生の最終点にしたい個所で、

再度 A-B REPEAT を押す

- **選択されたセクションが繰り返し再生されます。**

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、A-B REPEAT を押してリピート再生をオフに切り換える

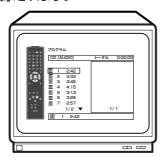
再生

あどばいす

- DVDビデオの場合、A-Bリピートは、同じタイトル内にのみ設定することができます。
- 音楽用CDの場合、A-Bリピートは、同じトラック内にのみ設定することができます。
- DVDビデオの場面によっては、A-Bリピート機能を利用できない場合もあります。
- 設定された(A)ポイントをキャンセルするには、CLEAR を押すと、“オフ”と表示されます。
- MP3、WMAのA-Bリピートはできません。

DVD・CDを再生する

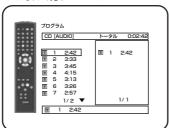
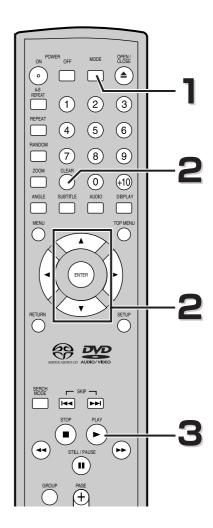
■ プログラム再生 DVD-A CD SUPER AUDIO CD

1 ディスクを挿入し、停止中に MODE を押す（DVDオーディオの場合は2回押す）

- プログラム設定画面が表示されます。

2 を押して、希望するトラックを選択し、

ENTER を押す。

- 選択したトラックのプログラム数と合計時間が画面上側に表示されます。
- 最後に入力したプログラムを取り消すには、 を押します。

3 PLAY を押す

- プログラムされている順序で再生が開始します。

プログラム再生中、停止ボタンは次のように作動します。

- 停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。
  再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。
- 停止ボタンを2回押した場合、プログラム再生はキャンセルされます（プログラムの設定は保持されます）。
  再生再開時：トラック1から通常再生を始めます。保持されているプログラム設定を再生するには、モードボタンを押してから、再生ボタンを押します。

あどばいす

- プログラム再生中は追加のプログラムは実行できません。このような操作を行う前に現在の再生を停止してください。
- プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
- プログラムの設定は、電源が切れたり､ディスクが入っているトレイが開くと、消去されます。
- プログラム再生中に、プログラム設定した次のトラックを再生するときは ▶▶| を押してください。
- 99曲までプログラムできます。
- MP3、WMA、JPEGのプログラム再生方法は、[➡ 54ページ]を参照してください。

■ ランダム再生 DVD-A CD SUPER AUDIO CD

1 停止中に MODE を2回押す（DVDオーディオの場合は3回押す）

・ランダム設定画面が表示されます。

2 PLAY ▶ を押す

・ランダム再生が始まります。

あどばいす

- 手順1で RANDOM を押すことで、ランダム画面を表示することができます。
- ランダム再生中は、プログラムの再生はできません。
- ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。
- MP3、WMA、JPEGのランダム再生方法は、[➡ 55ページ]を参照してください。

希望するところから再生する(サーチ)

■ ディスクメニューを使う　DVD-V

ディスクの内容を表示し、ディスクメニューから再生することができます。

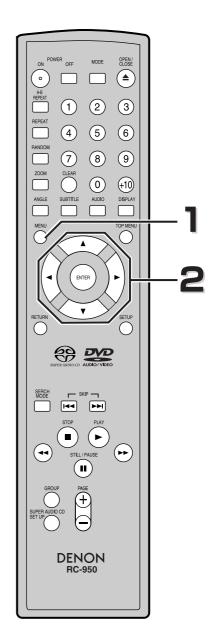
(例)

● 表示される内容はDVDビデオによって異なります。
ここでは一般的な操作の例を示しています。

1 MENU を押す

• ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

• 選択したタイトルから再生が始まります。
• カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して選びます。次に ENTER を押します。
• ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。

あどばいす

• ディスクの取扱説明書をお読みください。

サーチ

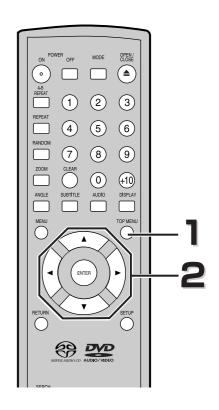
■ タイトルメニューを使う DVD-V DVD-A

タイトルメニューが入っているDVDソフトの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

1 TOP MENU を押す

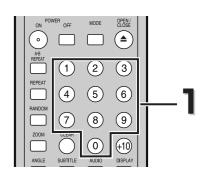
- タイトルメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

- 選択したタイトルから再生が始まります。
- カーソルボタン[▲ / ▼ / ◄ / ►]を押して選びます。次に ENTER を押します。
- ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。

VCD

PBC機能のあるビデオCDの場合は、タイトルメニューが自動的に画面上に表示されます。
このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

1 数字ボタンを押して希望するタイトル番号を入力する

- ディスクに2桁以上のタイトルがあるとき、1桁の数字を入力するには、「0」ボタンを押してから希望の数字を押してください。
  例）タイトル： 1 → 01
- 1桁のタイトルしかない場合は、直接数字を押してください。
  例）タイトル： 1 → 1

あどばいす

- タイトルメニューに戻りたい場合は、RETURN を押してください。

再生中にメニュー画面を呼び出すには？

- MENU を押してディスクメニューを呼び出します。
- TOP MENU を押してタイトルメニューを呼び出します。
  （ディスクによっては呼び出せないものがあります。）

サーチ

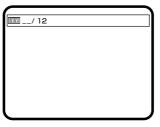
希望するところから再生する(サーチ)

■ 希望するチャプターまたはタイトルからの再生 DVD-V

1 再生中に SEARCH MODE を押す

• チャプターサーチ画面が表示されます。

2 タイトル番号を変更する場合は、もう一度 SEARCH MODE を押す

• タイトルサーチ画面が表示されます。

3 数字ボタンを押して希望するチャプターまたはタイトル番号を入力する

• ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるとき、1桁の数字を入力するには、「0」ボタンを押してから希望の数字を押してください。
例）チャプター： 1 → 01
• 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、直接数字を押してください。
例）チャプター： 1 → 1

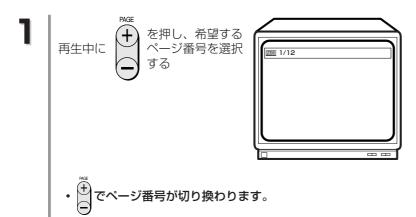
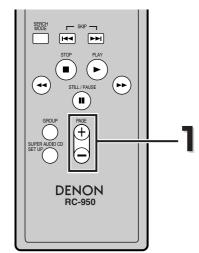
あどばいす

• DVDビデオによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
• 再生中に希望するチャプター番号の数字ボタンを押すと、現在再生中のタイトルのチャプターNo.をサーチし、再生されます。
• 停止中に希望するタイトル番号の数字ボタンを押すと、指定したタイトル番号の先頭から再生されます。
• 入力をやり直すときは、CLEAR を押してください。

■ ページセレクション DVD-A

静止画像が含まれているDVDオーディオディスクでは、その中のお好きな画像が選択できます。

1 再生中に PAGE (+/−) を押し、希望するページ番号を選択する

• PAGE (+/−) でページ番号が切り換わります。

■ 希望するグループからの再生 DVD-A

1 再生または停止中に GROUP を押す

2 数字ボタンを押して希望するグループ番号を入力する

• グループが選択され、再生が始まります。

サーチ

希望するところから再生する(サーチ)

■ 希望するタイムカウントからの再生 DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD

1 再生中に、🕒 が表示されるまで SEARCH MODE を繰り返し押す

• タイムカウントサーチ画面が表示されます。

2 数字ボタンで希望の時間を入力すると、その時間から再生されます。

• 例： 1時間23分30秒
1→2→3→3→0

あどばいす

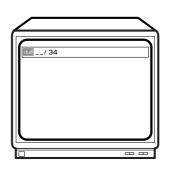
• DVDビデオの場合、チャプターのタイムサーチはできません。
• 音楽用CDの場合、CD全体のタイムサーチはできません。
• ディスクによっては、タイムカウント(時間)からの再生ができないものがあります。
• ディスクのトータルを超えた数値を入れたとき、タイムサーチは働きません。
• 数字ボタンの入力をやり直す場合は、CLEAR を押してください。
• MP3やWMAのタイムサーチはできません。

サーチ

■ 希望するトラックからの再生 DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD

(PBC機能を除く)

1 再生中に SEARCH MODE を押す

• トラックサーチ画面が表示されます。

2 数字ボタンを押すと希望するトラック番号から再生されます

• ディスクに2桁以上のトラックがあるとき、1桁の数字を入力するには、「0」ボタンを押してから希望の数字を押してください。
例）トラック： 1 → 01
• 1桁のトラックしかない場合は、直接数字を押してください。
例）トラック： 1 → 1

あどばいす

• 再生または停止中に数字ボタンを使って、希望するトラックから再生を始めることができます。2桁以上のトラック番号を入力する場合は、手順１の画面が表れてから「+10」ボタンを押し、数字を入力します。
（例）トラック14：＋10→1→4
• 入力をやり直すときは、CLEAR を押してください。
• DVDオーディオの場合、停止中はグループサーチしかできません。リジューム機能が働いている時はトラック、グループサーチができます。

サーチ

希望するところから再生する(サーチ)

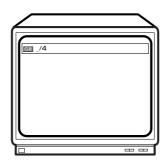
■ 希望するボーナスグループからの再生 DVD-A

ボーナスグループが記録されているDVDオーディオディスクでは、パスワードを入力するとボーナスグループを再生できます。

1 停止中に SEARCH MODE を2回押す

リジューム機能設定が「オフ」の時は

停止中に SEARCH MODE を1回押す

- **グループサーチ画面が表示されます。**

2 数字ボタンを押して、希望するボーナスグループナンバーを入力する

- **パスワード入力ポップアップ画面が表示されます。**

3 数字ボタンを押して、４桁のパスワードを入力する

- **正確なパスワードを入力すると、ボーナスグループの最初から再生が始まります。**

サーチ

あどばいす

- メニュースクリーンの中にパスワード画面が表れる場合がありますが、表示される指示に従って操作してください。
- 一度パスワードを入力すると、ディスクを取り出すまで繰り返し再生することができます。

再生中の設定（お好みに合わせて）

■ 音声（言語）をかえる　DVD-V　DVD-A　CD　VCD

DVDプレーヤーには、希望する音声(言語)およびサウンドモードが選択できる機能が備えられています。

1　再生中に AUDIO を押す

2　AUDIO をくり返し押して希望する音声(言語)を選択する

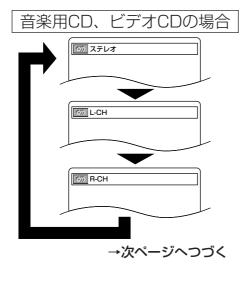
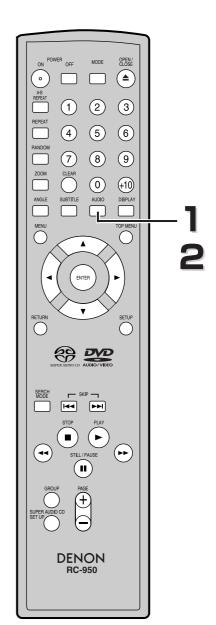
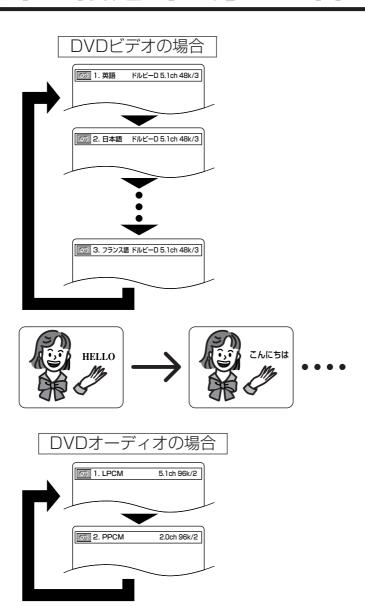
- ディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- DVDソフトによっては、複数の言語が入っていても音声ボタンが作動しないことがあります。このようなDVDソフトの場合は、メニュー画面で音声を切り換えてください。

音楽用CD、ビデオCDの場合

→次ページへつづく

お好みで

再生中の設定（お好みに合わせて）

あどばいす

- スーパーオーディオCDは音声切換できません。（CDエリアが収録されているディスクは音声切換できます。）
- 音声ボタンを数回押しても希望する言語が表示されないときは、言語がDVDソフトに含まれていません。
- 電源投入時、選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDソフトに含まれていないときは、DVDソフトに入っている言語が選ばれます。
- 音声言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- 音声言語の表示には“日本語”や“英語”の他に、アルファベット3文字や“－－－”と表示される場合があります。
- 音楽用CDやビデオCDの場合、バーチャルサラウンド（48ページ）が働いているとき、サウンドモードを切り換えることができません。
- DTS CDはサウンドモードを切り換えることができません。
- DVDオーディオの場合、複数の音声が収録されていなくても音声番号2まで表示されることがありますが、出力される音声は音声番号1になります。

■ 字幕（言語）をかえる DVD-V

DVDプレーヤーには、希望する字幕(言語)を選択できる機能が備えられています。

1 再生中に SUBTITLE [ ] を押す

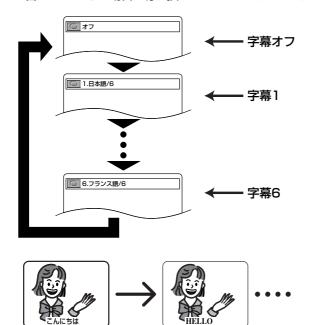
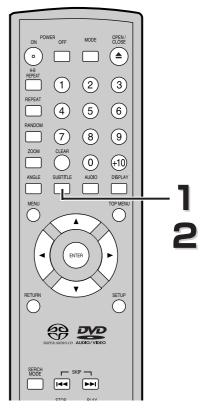
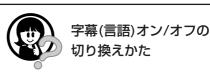
2 さらに SUBTITLE [ ] を押して希望する言語の字幕を選択する

- 再生中のDVDビデオに複数の言語が含まれている場合、字幕(言語)を切り換えることができます。
- SUBTITLE [ ] を押すと字幕(言語）が、字幕１、字幕2---と言語が切り換わります。
- 字幕(言語）は、使用中のDVDビデオに1つの言語しか含まれていない場合、切り換えることができません。

字幕(言語)オン/オフの切り換えかた

1 再生中に SUBTITLE [ ] を押す。

2 カーソルボタン ◀ / ▶ を押してオン/オフを切り換える。

お好みで

あどばいす

- SUBTITLE [ ] を数回押しても希望する言語が表示されないときは、その言語の字幕がDVDビデオに含まれていません。
- 電源投入時、選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDビデオに含まれていないときは、DVDビデオに入っている言語が選ばれます。
- 変更した字幕(言語)が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- 字幕言語表示画面は約5秒後に消えます。
- “なし”が画面上に表示されたときは、字幕はそのシーンに入っていません。
- 字幕言語には、“日本語”や“英語”の他に、アルファベット3文字や“－－－”と表示される場合があります。

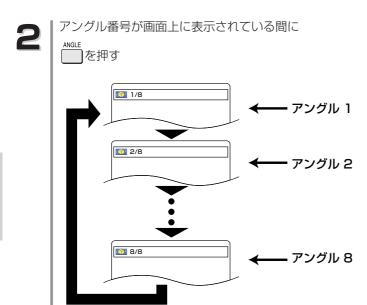
■ アングル（カメラアングル）をかえる DVD-V

DVDプレーヤーには希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

1 再生中に ANGLE を押す

- 各種カメラアングルの画像が記録されたDVDビデオでは、画面右上にアングルアイコン（ ）が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。
- 画面に「禁止アイコン」があらわれた場合、カメラアングルを変更することができません。

2 アングル番号が画面上に表示されている間に ANGLE を押す

あどばいす

- アングル表示画面は約5秒後に消えます。
- アングルアイコンの設定をオフにしている場合は「アングルアイコン」はあらわれません。[➡ 63 ～ 64ページ]

■ ズーム再生（画面上で拡大） DVD-V VCD JPEG

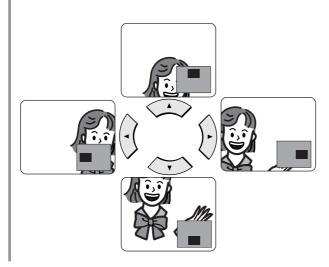
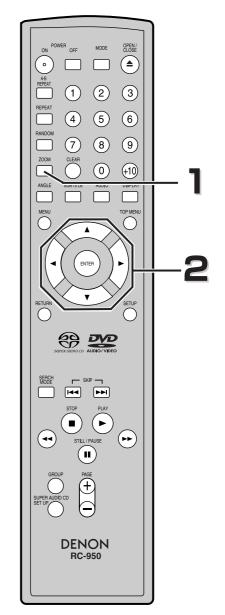
お好みにより画面上で2倍または4倍の大きさに拡大できます。

1 再生中に ZOOM を押す

- 画面中央で画像が拡大されます。
- ZOOM をくり返し押すと、2段階の切り換えができます。

2 ズーム再生中に ▲ / ▼ / ◀ / ▶ を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から上下左右に移動させることができます。2倍ズームのときは4段階、4倍ズームのときは6段階です。ディスクによっては4倍ズームができないものもあります。
- 現在拡大されている箇所は画面下のカーソル部分です。
- 画面右下の表示は ENTER を押して表示のオン/オフを行うことができます。

お好みで

あどばいす

- ビデオCDやJPEG形式で記録されたCD-R/CD-RWは2倍ズームのみできます。

■ バーチャルサラウンド設定

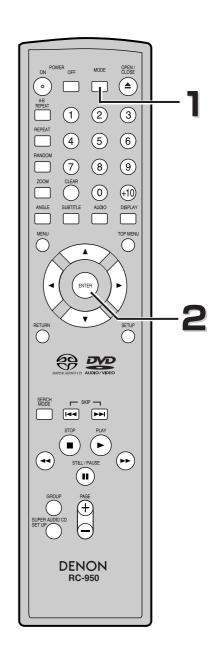
DVD-V DVD-A CD VCD MP3 WMA

バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。

1 再生中に MODE を1回押す

（音楽用CD、ビデオCD、MP3、WMAの場合は1回押す）

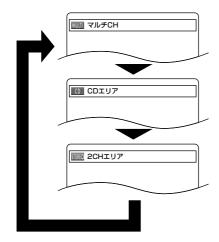
2 ENTER で［1: 標準 / 2: 強 / オフ］を切り換える

あどばいす

- ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- 音声がひずむ場合は、バーチャルサラウンド設定を［オフ］にしてください。
- 音楽用CDやビデオCDでサウンドモードを“ステレオ”以外に設定している場合は、バーチャルサラウンドを切り換えることができません。
- 初期設定の音声設定で、オーディオチャンネルが［マルチチャンネル］に設定されている場合は、バーチャルサラウンドの設定はできません。［ ➡ 65 ～ 67ページ］
- スーパーオーディオCD再生時は、バーチャルサラウンドの設定はできません。（CDエリアが収録されているディスクは設定できます）

■ スーパーオーディオCD再生時の設定

スーパーオーディオCDの再生エリアを設定することができます。

1 再生または停止中に SUPER AUDIO CD SET UP を押す

2 SUPER AUDIO CD SET UP で ［マルチCH / CDエリア / 2CHエリア］を切り換える

● マルチCH
スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、マルチチャンネルのエリアを優先的に再生します。

● CDエリア
スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、CDエリアを優先的に再生します。

● 2CHエリア
スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、ステレオエリアを優先的に再生します。

お好みで

あどばいす

• 選択したエリアまたはレイヤーのないディスクを再生する場合、自動的に別のエリアまたはレイヤーを再生します。

再生中の設定（お好みに合わせて）

■ マーカー設定 DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD

(PBC機能を除く)

マーカー機能を使って、マーカー設定した箇所より再生することができます。マーカーは10個まで設定することができます。

● マーカーを設定する

1 再生中に、MKRが表示されるまで SEARCH MODE を繰り返し押す

2 ◀ / ▶ で設定されていない1～10までの数字を選ぶ

3 ENTER を押す

- **マーカーをつけた箇所の時間が表示されます。**

4 SEARCH MODE または RETURN を押す

- **再生画面に戻ります。**

● マーカー設定した箇所から再生する

1 再生中に、MKRが表示されるまで SEARCH MODE を繰り返し押す

2 ◀ / ▶ でマーカーをつけた数字を選び ENTER を押す

- **設定されていなければ、"＿＿：＿＿：＿＿" と表示されます。**
- **選択された箇所から再生が始まります。**

● マーカー設定を削除する

1 再生中に、MKRが表示されるまで SEARCH MODE を繰り返し押す

2 ◀ / ▶ でマーカーをつけた数字を選び CLEAR を押す

- **すべてのマーカー設定を削除するには、▶ でACを選び、ENTER を押します。**

3 SEARCH MODE または RETURN を押す

- **再生画面に戻ります。**

あどばいす

- 設定したマーカーは電源をオフにするか、トレイを開けると削除されます。
- MP3、WMAのマーカー設定はできません。

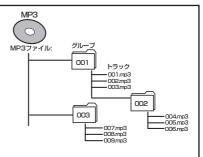
お好みで

MP3、WMA、JPEGの再生

■ MP3/JPEG/WMAディスクの再生 MP3 WMA JPEG

本機はMP3、JPEG、WMA形式で記録されたCD-RやCD-RWディスクを再生することができます。
また本機はコダックピクチャーCDに収められたJPEGファイルも表示可能です。
ピクチャーCDを再生すれば、テレビで写真画像をお楽しみいただけます。
＊ピクチャーCDとは従来のフィルムカメラによって撮影された画像をデジタルデータ化しCDに記録したものです。
ピクチャーCDについての詳細はコダックのサービス取り扱い店にお問い合わせください。

MP3、JPEG、WMAディスクについて

- 「.mp3(MP3)」という拡張子が付いたファイルを「MP3ファイル」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子が付いたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。
- 本機ではEXIF規格に適合した画像ファイルも再生可能です。
  ＊EXIF (Exchangeable Image File format)はファイルフォーマット形式の一つで、JEIDA (Japanese Electronic Industry Development Association)によって制定されたものです。
- 「.wma(WMA)」という拡張子が付いたファイルを「WMAファイル」と呼びます。
- 拡張子が「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」、「.jpeg(JPEG)」と「.wma(WMA)」以外のファイルはMP3、JPEGまたはWMAメニューのリストには表示されません。
- 拡張子「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」、「.jpeg(JPEG)」または「.wma(WMA)」が付いたファイルでも、MP3、JPEG、WMA形式で記録されていないものを再生するとノイズが出ることがあります。

MP3、JPEGまたはWMAファイルが記録されたディスクを本機に挿入すると、テレビ画面にトラックメニューが表示され、トラックの数が本体前面に表示されます。

1 ラベル面を上にしてディスクトレイにディスクを入れる

MP3、JPEGまたはWMAトラックが記録されているディスクの場合：

- MP3、JPEGまたはWMAのトラックメニューが表示されます。
- グループ名の先頭には“ ”が表示されます。
- MP3ファイル名の先頭には“ ”が表示されます。
- JPEGファイル名の先頭には“ ”が表示されます。
- WMAファイル名の先頭には“ ”が表示されます。
- 画面内に全て表示されない場合は、次のページを示す“▼”が表示されます。前のページがある場合には “▲”が表示されます。“▼”の左側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
- 255グループ（またはフォルダ）、256トラックまで認識できます。（MP3、JPEG、WMAファイルを合わせて）

- グループの中にMP3、JPEGまたはWMAファイルが見つからない場合、グループは表示されません。
- 本機はISO9660レベル1、レベル2またはJOLIETにより記録されたデータを再生できます。
- マルチセッションで記録されたデータのディスクも再生できます。
- 記録方式について詳しくは、CD-R/CD-RWドライブまたは書き込みソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

MP3、WMA、JPEGの再生

再生可能MP3ファイル	
サンプリング周波数	44.1kHz 48kHz
タイプ	MPEG1 オーディオレイヤー3
フォーマット	ISO9600 Level1/Level2 Joliet方式

再生可能JPEGファイル	
画像サイズ	最大：6300×5100ドット 最小：32×32ドット

再生可能WMAファイル	
サンプリング周波数	44.1kHz 48kHz
ビットレート	48〜192kbps
タイプ	WMA バージョン8

上記以外で記録されたファイルは、禁止マークが表示され、順次再生可能なファイルをサーチします。

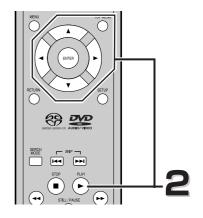
JPEGまたはコダックピクチャーCDの場合：

- JPEGまたはコダックピクチャーCDのメニューが表示されます。
- すべてのメニュー項目が画面範囲内に表示されない場合は“▶▶I”が画面右下に表示され、表示されると次ページの残りの項目を見ることができます。また“I◀◀”が表示された場合は前ページの他の項目を見ることができます。現在のトラック番号と総ページ数は画面の中央下部に表示されます。
- “▶▶I”が表示された場合、次のページを見るには ▶▶I を使います。“I◀◀”が左下に表示された場合、前のページを見るには I◀◀ を使います。
- メニュー画面にすべてのメニュー項目を表示されるまで時間がかかることがあります。

2

JPEGの場合は ▲ / ▼ 、コダックピクチャーCDの場合は ▲ / ▼ / ◀ / ▶ を押して再生したいグループやトラックを選択し、PLAY ▶ または ENTER を押す

- MP3またはWMAファイルが選択されている場合、選択されたトラックから再生が始まり、次のトラックに移ります。
- JPEGまたはコダックピクチャーCDファイルが選択されている場合、選択されたトラックから画像再生が始まり、次のトラックに移ります。
  トラックは5秒間表示され、次のトラックが表示されます。

- 画像を表示しているときは、▶ を押すごとに時計回りに、◀ を押すごとに反時計回りに90度ずつ画像が回転します。
- グループが選択されている場合は、▲ / ▼ を押して好みのグループを選択し、▶ 、PLAY ▶ または ENTER を押して好みのトラックを選択します。
- PLAY ▶ または ENTER を押した場合は画像再生が始まります。

あどばいす

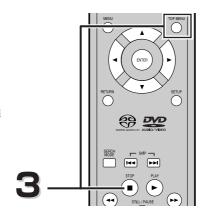
MP3、JPEG、WMAの場合

- “はじめから再生”を選び、PLAY ▶ を押すと、ディスクの先頭から、トラック・グループの順に再生します。
- 9階層以降の階層は再生できません。
- グループ、トラックの名前は25文字まで表示できます。アルファベット、数字、アンダーライン、アスタリスク、スペースは表示しないことがあります。漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。また、認識できない文字はアスタリスクで表示されます。
- MP3の音声は、デジタル接続したとき、デジタル機器での録音が禁止されます。
- ファイルリストを表示中に TOP MENU を押した場合は、“はじめから再生”が選択されます。
- 記録したときの条件によっては、再生できないグループやトラックが表示されることがあります。

3 再生を停止するときは を押す

あどばいす

コダックピクチャーCDの場合

- STOP（■）を押すとメニュー画面で前に表示されたトラックが選択されます。
  もう一度STOP（■）を押すかTOP MENUを押すとトラック1～6のメニュー画面が表示され、トラック1が選択されます。

■ スライドショーモード JPEG

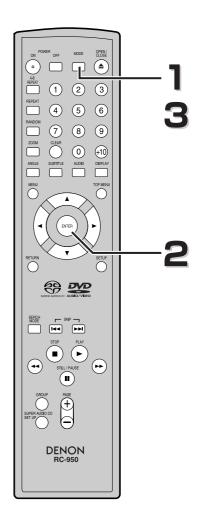
再生中にスライドショーモードに切り換えることができます。
スライドを見るように、画像を順番に表示します。

1 再生中に MODE を押す

- スライドショーモード画面が表示されます。
- 停止中、またはファイルリスト画面やピクチャーCDメニュー画面からスライドショーモードに切り換えることはできません。

2 ENTER を押す

- スライドショーモードが換わります。
  1　完全な画像を一度に表示し、消去します。
  2　画像を徐々に表示し、消去します。

3 終了するには MODE を押す

MP3／WMA／JPEG

MP3、WMA、JPEGの再生

■ MP3、WMA、JPEGディスクをプログラム順に再生する MP3 WMA JPEG

1 停止中に MODE を押す

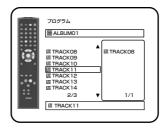
・プログラム画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ でグループを選択し ENTER を押す

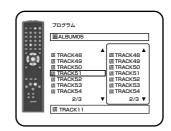
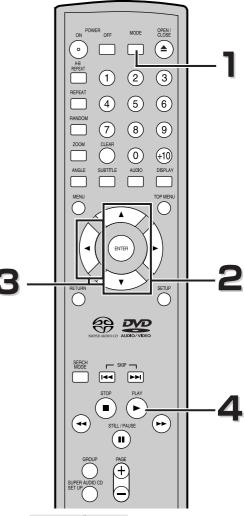
・トラック選択画面になります。

3 ▲ / ▼ でトラックを選択し、

ENTER を押すとプログラムが入力される

・プログラム入力されたトラックは右画面に表示されます。
・画面内に全て表示しきれない場合は次のページを示す“▼”が表示されます。
・◀ を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。

4 プログラム入力が完了すれば PLAY ▶ を押す

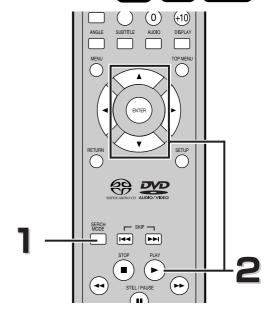
・プログラム再生が始まります。

あどばいす

・CLEAR を押すと最後に入力したプログラムを取り消すことができます。
・RETURN を押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。
・プログラム再生を中止するときは STOP ■ を2回押します。
・STOP ■ を1回押した場合、次に PLAY ▶ を押すと、再生されていたトラックのはじめから再生します。このとき、プログラム再生は解除されます。
・電源を切ったりディスクトレイを開けるとプログラム設定は解除されます。
・8曲以上入力すると、設定画面はスクロールします。設定画面のスクロール移動は、SKIP ◀◀ ▶▶ を押してください。

■ MP3、WMA、JPEGディスクを希望するトラックから再生する MP3 WMA JPEG

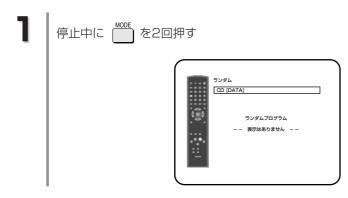
1 再生中に SEARCH MODE を押す

• サーチメニューが表示されます。

2 ▲ / ▼ で再生したいトラックを選択し、PLAY ► または ENTER を押すと再生が始まる

あどばいす

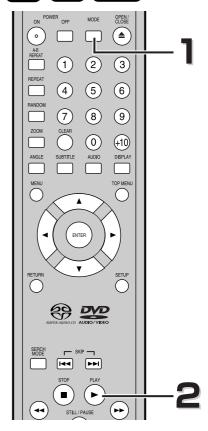
• 画面表示を消した状態で再生しているときに数字ボタンでトラック番号を入力すると、トラックのダイレクト再生を始めることができます。
• トラックNo.にない数字を入力してしまうと禁止マークが表示され、ダイレクトサーチモードは解除されます。
• 希望するタイムカウントからの再生はできません。

■ MP3、WMA、JPEGディスクをランダム再生する MP3 WMA JPEG

1 停止中に MODE を2回押す

2 PLAY ► を押す

• ランダム再生が始まります。

あどばいす

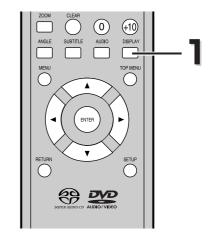
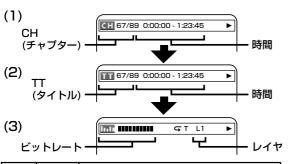
• 手順1で RANDOM を押すことで、ランダム画面を表示することができます。

再生中の情報を見る（画面表示）

■ 画面表示の切りかえ DVD-V DVD-A CD SUPER AUDIO CD VCD MP3 WMA JPEG

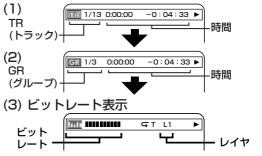
リモコンの表示ボタンを押してディスクについての情報を確認することができます。

再生情報の表示

1 再生中に DISPLAY を押す

- 画面上に情報が表示されます。
- DISPLAY をくり返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDビデオの場合

	項目	表示内容
(1)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	TT	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDビデオに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生している時、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。

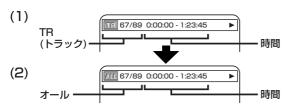
リターンボタン、または画面表示ボタンを4回押すと再生画面に戻ります。

DVDオーディオの場合

プログラム/ランダム再生中のみ、グループは表示されません。

TR プログラム または TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
(2)	GR	現グループ番号/総グループ数
	時間	グループ経過時間/グループ残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDオーディオに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生している時、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。

リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

音楽用CD、ビデオCD、スーパーオーディオCDの場合

プログラム/ランダム再生中のみ、オールは表示されません

TR プログラム　または　TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
(2)	オール	現トラック番号/総トラック数
	時間	ディスク経過時間/ディスク残り時間

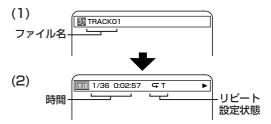
リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

あどばいす

- PBC付きのVCDでは、画面表示ボタンを押すとPBC表示をします。
  PBCを解除すると（1）、（2）の表示をします。

MP3、WMA、JPEGの場合

(3) プログラム/ランダム再生中のみ

TR プログラム　または　TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラックの名称
(2)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T : トラック　G : グループ　A : オール

リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

画面表示

設定をかえる（セットアップ）

■ 初期設定一覧（出荷時の設定）

便利にお使いいただくために設定しておける内容と、工場出荷時の設定を一覧表にしています。

ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご参照ください。

メニュー項目	設定項目（□は工場出荷設定）		設定内容
1. 言語設定 ➡59～62ページ	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
	OSD言語 Quick	日本語 ENGLISH	設定画面の言語やテレビ画面に表示される言語の設定
2. 映像設定 ➡63～64ページ	TV画面モード Quick	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9ワイド	接続するテレビのタイプに合わせて設定
	表示パネル	明るい 暗い オート	本体表示パネルの照度設定
	アングルアイコン	オン オフ	アングルアイコン（ ）の画面表示有無の設定
	オートパワーオフ	オン オフ	静止で35分間入力がない場合、電源「切」にするか設定
3. 音声設定 （デジタル出力） ➡65～67ページ	DRC	オフ オン	音量範囲をコントロールするか設定
	ドルビーデジタル Quick	オン オフ	デジタル音声出力端子から出る音声信号の種類を設定
	DTS	オン オフ	
	LPCM変換	オフ オン	96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換するか設定
	低域コントロール	オフ オン	低域の音声信号をサブウーファーから出力するか設定
	オーディオチャンネル	マルチチャンネル 2チャンネル	出力を2チャンネルにするか5.1チャンネルにするか設定
4. 視聴制限設定 ➡70～71ページ	視聴制限レベル	オール 8～1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更

あどばいす

- スーパーオーディオCDの設定項目はありません。
- 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
- 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
- メニュー画面付きDVDソフトを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
- Quick とかかれたマークのある項目は、クイックセットアップモード（59ページ）内で設定することができます。その他の項目は、カスタムセットアップモード（59ページ）内で設定を変更してください。

■ 言語設定

再生中の場合、を押します。

1

SETUP を押す

• セットアップ画面が表示されます。
（クイックモードが表示されます）

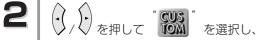
2

/ を押して "CUSTOM" を選択し、

ENTER を押す

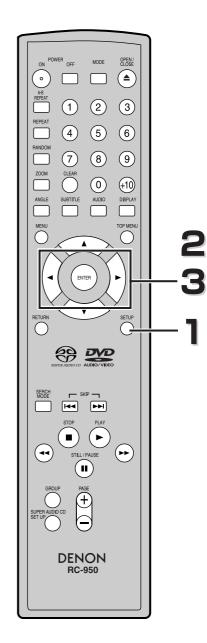
• カスタムモードが表示されます。

3

/ を押して "Language" を選択し、

ENTER を押す

• 言語設定画面が表示されます。

設定

4

/ を押して選択したい項目を選び、

ENTER を押す

● **音声言語**（初期設定：オリジナル）
再生ディスクの言語(音声)を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナル言語(音声)となります。

ENTER を押す

/ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

● **字幕言語**（初期設定：オフ）
再生ディスクの言語(字幕)を選択します。
＊オフ：字幕なしとなります。

ENTER を押す

/ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

● **ディスクメニュー言語**（初期設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。

ENTER を押す

/ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

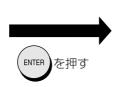
音声・字幕・ディスクメニュー言語に入っていない言語を選ぶ場合

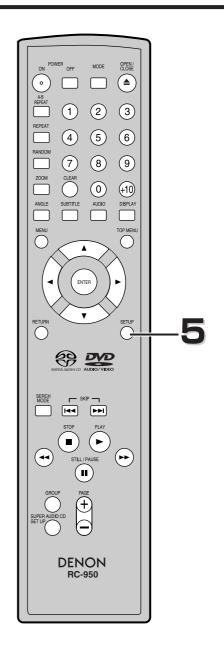
/ を押して“その他”を選択し、言語コード設定画面を表示させ ENTER を押します。62ページのリストを参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

● **OSD言語**（初期設定：日本語） Quick
本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。

ENTER を押す

/ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

設定

5 SETUP を押す

• 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

あどばいす

• 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、音声ボタンと字幕ボタンを使います。
詳しい説明は43 ～ 45ページにあります。
• RETURN を押すと、ひとつ前の画面に戻すことができます。

■ 言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語(DAN)	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語(GRE)	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語(FIN)	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264
フリジア語	5271
アイルランド語(IRI)	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語(HUN)	5467
アルメニア語	5471

言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語(ICE)	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語(NOR)	6061
プロバンス語	6149
アファン語(オロモ語)	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語(POR)	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語(RUM)	6461
ロシア語※	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語(SWE)	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語(TUR)	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズルー語	7267

音声ボタンを押したとき、※は画面上にそのまま表示されます。また、(　)で示されている言語は(　)通り、それ以外の言語は“－－－”で表示されます。

■ 映像設定

再生中の場合、 を押します。

1

SETUP を押す

• セットアップ画面が表示されます。
（クイックモードが表示されます）

2

◀ / ▶ を押して "CUSTOM" を選択し、

ENTER を押す

• カスタムモードが表示されます。

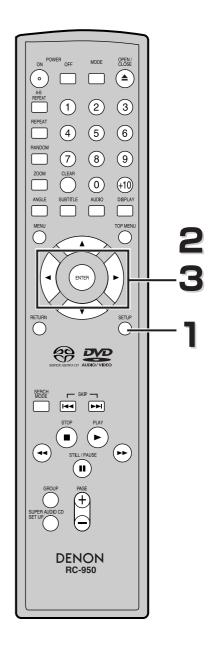
3

◀ / ▶ を押して " " を選択し、

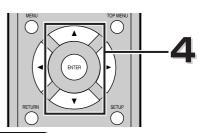
ENTER を押す

• 映像設定画面が表示されます。

設定をかえる（セットアップ）

4

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

● **ＴＶ画面モード**（初期設定：4:3 レターボックス） Quick
　4:3 レターボックス　：上下に黒い帯つきの画面
　4:3 パンスキャン　　：左右をカットした画面
　16:9ワイド　　　　　：ワイド画面テレビに接続されている場合、自動的に横長の画面になります。

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

● **表示パネル**（初期設定：明るい）
　本機表示パネルの表示輝度を調整します。
　＊オート：再生中のみ暗転します。

▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、ENTER を押す

● **アングルアイコン**（初期設定：オン）
　画面上にアングルアイコンを表示／非表示します。

● **オートパワーオフ**（初期設定：オン）
　静止または停止状態が35分間続くと､電源が自動的に切れるように設定できます。

あどばいす

• DVDソフトによっては、TV画面モードで設定したモードとは違う画面になることがあります。

5

を押す

• **設定を完了し､セットアップ画面が消えます。**

あどばいす

• RETURN を押すと、ひとつ前の画面に戻すことができます。

設定

■ 音声設定

再生中の場合、 を押します。

1 SETUP を押す

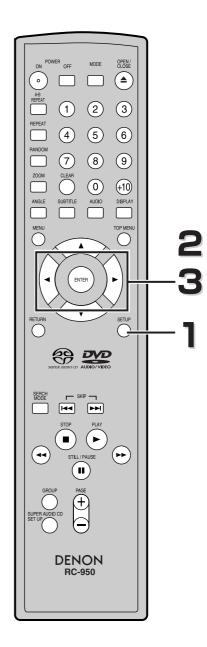
・セットアップ画面が表示されます。
（クイックモードが表示されます）

2 を押して "" を選択し、 を押す

・カスタムモードが表示されます。

3 を押して "" を選択し、 を押す

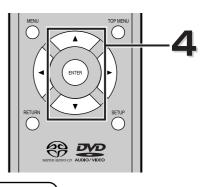
・音声設定画面が表示されます。

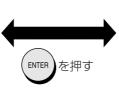
設定

4 ▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、

を押す

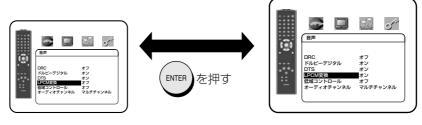
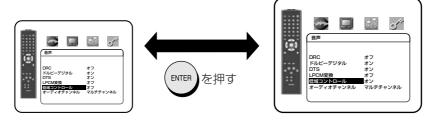
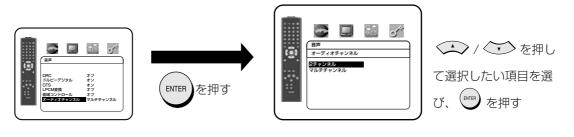
● DRC（初期設定：オフ）

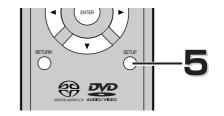
＊オン：再生時に音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整します。

- この機能は音量範囲をコントロールするものです。音量範囲を圧縮することにより夜間の出力を抑制するだけでなく低音部の音量を上げることもできます。
- ただし、この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

● **ドルビーデジタル**（初期設定：オン） Quick

＊オン：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
＊オフ：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

● DTS（初期設定：オン）

＊オン：DTSデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
＊オフ：DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。

● **LPCM変換**（初期設定：オフ）
96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する/しないを設定します。また、96kHzの高音質で楽しむためには96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。
＊オフ：“オフ”に設定した場合、ディスクのコピーガード機能が働いているとき、
　　　96kHzで録音された音はデジタル出力で48kHzに変換して出力されます。
＊オン：96kHzに対応していないアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

● **低域コントロール**（初期設定：オフ）
低域の音声信号をサブウーファーから出力する/しないを設定します。出力するにはオーディオチャンネルをマルチチャンネルに設定し、サブウーファーを“有り”にする必要があります。
＊オフ：サブウーファーを接続しないときに選びます。
＊オン：サブウーファーを接続するときに選びます。

● **オーディオチャンネル**（初期設定：マルチチャンネル）
＊2チャンネル：2チャンネル音声で出力します。
＊マルチチャンネル：5.1チャンネル音声で出力します。（マルチチャンネル選択時は、スピーカー設定が必要となります。[➡ 68ページ]）

5 SETUP を押す

• **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

あどばいす
• メニュー画面付きDVDソフトを再生したときは、ディスクメニューでも設定が必要となることがあります。
• RETURN を押すと、ひとつ前の画面に戻すことができます。

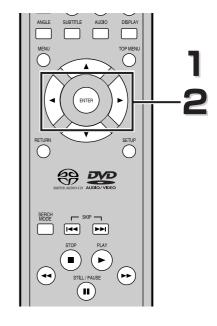
■ スピーカー設定

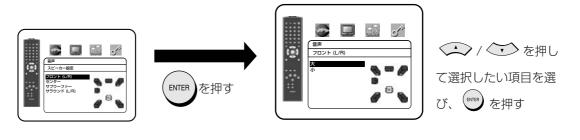
オーディオチャンネル設定でマルチチャンネルを選択すると、スピーカーの設定をする必要があります。
（マルチチャンネルの選択については、66〜67ページをご覧ください。）

1 ▲ / ▼ を押して“マルチチャンネル”を選び、ENTER を押す

• マルチチャンネル設定画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ を押して選択したい項目を選び、

を押す

● スピーカー設定

＊大：100Hz以下の音声を再生できるスピーカーと接続したときに選びます。
＊小：100Hz以下の音声を再生できないスピーカーと接続したときに選びます。
＊なし：そのスピーカーを接続していないときに選びます。(FRONT (L/R)では選択できません)
＊有り(サブウーファーのみ)：サブウーファーを接続したときに選びます。

あどばいす

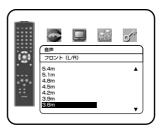
• フロント（L/R）を“小”に設定している場合は、サブウーファーは“なし”に設定できません。
• サブウーファーを“なし”に設定している場合は、フロント（L/R）を“小”に設定できません。
• サブウーファーを“なし”に設定している場合は、低域コントロールを［オン］に設定できません。
［ ➡ 67ページ］）
• DVDオーディオ再生時に次の設定を行うと、サブウーファーのLow Pass Filter（100Hz以上の音をカットするフィルター）はオフになります。それ以外の設定ではフィルターはオンになります。

フロント（L/R）　：大
センター　　　　　：大
サブウーファー　　：有り
サラウンド（L/R）：大

設定

● ディレータイム
5.1チャンネルサラウンドサウンドシステムを使用するときは、視聴位置から各スピーカー（サブウーファーを除く）への距離が均等であることが理想的です。このような環境で視聴できない場合、異なる距離からの音が同時に視聴位置に届くよう設定することができます。
・**距離**（初期設定：メートル）
＊ ENTER で距離の単位を **[メートル / フィート]** に切り換えます。

・**フロント（L/R)、センター、サラウンド**（初期設定：3.6m）
＊フロント（L/R）：0〜18mの間で設定できます。
＊センター：フロント（L/R）の設定値によって決まります。
＊サラウンド：フロント（L/R）の設定値によって決まります。

て選択したい項目を選び、 ENTER を押す

あどばいす
- **スピーカー設定で、センターとサラウンドが“なし”に設定されているときは、この項目は調整できません。**
- **“初期化”を選択して ENTER を押すと、全ての項目が出荷時の初期設定値に戻ります。**
- **スーパーオーディオCD再生時は、ディレータイムの設定は無効となります。**

● チャンネルレベル
スピーカーによって出力レベルが異なる場合、－12dBから0dBの範囲内で調整することができます。
＊テストトーン：テスト音声を出力します。

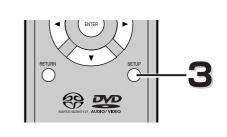
て選択したい項目を選び、 ENTER を押す

あどばいす
- **テスト音声を出力している間は、チャンネルバランスの調整はできません。**
- **テストトーンが選択されているときは、サブウーファーからテスト音声は出力されません。**
- **スピーカー設定で“なし”に設定しているスピーカーは、この項目の調整はできません。**

3 SETUP を押す

- **設定を完了し、セットアップ画面が消えます。**

あどばいす
- **を押すと、ひとつ前の画面に戻すことができます。**

設定

設定をかえる（セットアップ）

■ **視聴制限設定**　再生中の場合、STOP（■）を押します。

1

を押す

・セットアップ画面が表示されます。
（クイックモードが表示されます）

2

“CUS TOM”を押して を選択し、

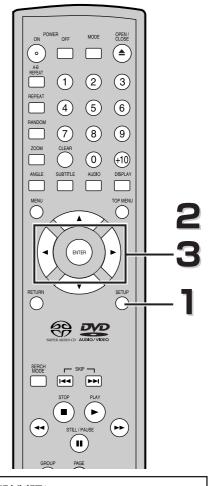
を押す

・カスタムモードが表示されます。

3

を押して を選択し、

を押す

・視聴制限設定画面が表示されます。

視聴制限について

お子さんが誤ってDVDプレーヤーを操作できないようにするための機能です。ディスクによって、子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴規制レベルが設定されているものがあります。本機では子供が設定を変えることのないように、パスワードで設定を保護することができます。
本機はディスクに視聴規制コードが記録してあれば視聴制限をかけることができます。視聴規制対応のディスクを再生したとき、暴力シーン等、子供には見せたくない部分を飛ばして見ることができます。選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、視聴制限を解除しないかぎり、再生できません。

4

数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力し、を押す

- 最初に設定をするとき、任意の4桁の数字を入力し、ENTERを押します。
  この数字は次回からパスワードとして使用されます。
  忘れないようにご注意ください。
- パスワードを入力して、視聴制限レベルとパスワード設定を変更することができます。
- 「4737」をパスワードにすることはできません。

● 「1、2、3、4」と入力した場合

5

 を押して選択したい項目を選び、

ENTER を押す

● 「視聴制限レベル」を選択した場合

▲ / ▼ を押してオールまたは8から1までの項目を選び、ENTER を押します。

(オール)

視聴制限をオフ状態にします。

(レベル8)

どのグレードのDVDソフトウェア（成人、一般、子供）でも再生できます。

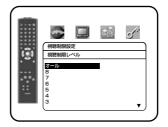
(レベル7から2)

一般用と子供向けのDVDソフトウエアのみ再生できます。

(レベル1)

子供用のDVDソフトウエアのみ再生できます。
成人向け、一般用のソフトウエアは利用できません。

● 「パスワード変更」を選択した場合

数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、 ENTER を押します。

パスワードを忘れたとき

手順4で以下の操作をおこなって下さい。
※ディスクが作動しているときはディスクを停止し、リモコンの[4]、[7]、[3]、[7]の順にボタンを押すと、すでに入力されていたパスワードが解除されます。

6

 を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

あどばいす

- 設定した方法で、視聴制限機能が作動するか確認してください。
- パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。
- RETURN を押すと、ひとつ前の画面に戻すことができます。

設定

故障かな？と思ったら

■ ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない	※電源プラグがはずれている ※停電で電源が切れている	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む ●安全保護装置が働いていることがあります。このときは、1度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください	―― ――
リモコンで操作できない	※リモコンが本機の受光部に向いていない ※リモコンと本機が離れすぎている ※リモコンと本機の受光部の間に障害物がある ※リモコンの電池が消耗している ※リモコンに水など水分を含む物をこぼした ※本体が故障している可能性があります	●リモコンを本機の受光部に向ける ●7m以内の所で操作する ●障害物を取り除く ●電池を交換する ●リモコンの交換が必要です。お近くの販売店にご相談ください ●ラジオを利用し、次のようなチェックを行ってみてください。AM放送で放送局のない周波数(雑音の出る状態)に合わせ(音量は大きめ)、ラジオのそばで任意のボタンを押します。雑音の中にブ、ブ、ブのような音が聞こえてきましたらリモコンは正常と考えられますので、本体が故障している可能性があります。**お近くの販売店や弊社サービスセンターにご相談ください**	16 16 ―― 16 ―― ――
画像が出ない	※映像接続コードがはずれている ※違う種類のディスクが入っている ※コピーガード機能が働いている	●映像接続コードをしっかり接続する ●DVDソフト(リージョン番号2、ALL)、ビデオCD以外の物が入っていないか確認する ●本機とテレビを直接接続する	18 9〜10 19
再生が始まらない	※結露が発生している ※ディスクが入っていない ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクが汚れている ※視聴制限設定が有効になっている	●電源プラグをコンセントへ差し込み、約1〜2時間放置する ●ディスクを入れる ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す ●ディスクを清掃する ●視聴制限設定を解除するか、規制レベルを変更する	7 23 23 7 70〜71
音声が出ない	※音声接続コードがはずれている ※音声出力の選択が正しくない ※音声接続をしている機器の電源が入っていない ※音声接続をしている機器の入力切り換えが正しくない	●音声接続コードをしっかり接続する ●音声出力の選択を正しく行なう ●音声接続をしている機器の電源を入れる ●音声接続をしている機器の入力切り換えを正しく行なう	18〜22 65〜67 ―― ――
DVDオーディオ、スーパーオーディオCDの音声が出ない	※2ch音声出力端子に音声コードを接続している	●5.1ch音声出力（フロントR／L）端子に音声コードを接続する	18〜22
映像が乱れる	※コピーガード機能が働いている ※早送り、早戻しをした直後である ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している	●本機とテレビを直接接続する ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません ●本機から離して使用する	19 ―― 25
セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDソフトにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDソフトにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	59〜62
アングルを変えて見ることができない	※DVDソフトに複数のアングルが記録されていない	●DVDソフトに複数のアングルが記録されているか確認する	46
音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDソフトに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDソフトにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	43〜45
テレビ画面に“⃠”が表示され、操作できない	※本機またはディスクがその操作を禁止しています	●故障ではありません	25
再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDソフトの仕様を満たしていない ※ディスクが汚れている ※ディスクにキズがある ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった	●**停止ボタン**を押してから、**再生ボタン**を押してみる ●ディスクを清掃する ●電源プラグをコンセントから抜き再度接続して再生する ●映像が一瞬とまることがありますが、故障ではありません	―― 7 ―― 23
勝手に電源が切れる	※停止状態で35分経過すると、自動的に電源「切」状態になります	●再度、電源を入れ直す	――
“ディスクエラー −−ディスクを取り出してください。−− 再生可能なディスクを挿入してください。” と画面表示される	※再生できないディスクが入っている ※ディスクが汚れている ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクにキズがある	●再生できるディスクを入れる ●ディスクを清掃する ●ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す ●キズのないディスクと取り換えて再生する	9 7 23 7
“リージョンエラー −−ディスクを取り出してください。−− この地域での再生は禁止されています。” と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる	9
“パレンタルエラー −−ディスクを取り出してください。−− 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。”と画面表示される	※視聴制限設定が有効になっている	●視聴制限設定を変更する	70〜71

あどばいす

- **機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。**
- **ディスクにより音量が異なる事がありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。**

索引

あ行

か行

さ行

索引

た行

は行

ら行

英数字

用語の解説

用語	説明
D_1/D_2映像出力端子（D端子）	デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号です。D映像入力端子やコンポーネント映像入力（Y、P_B/C_B、P_R/C_R）端子でテレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
DRC	音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。DRCオン/オフを切り換えることによって、テレビの会話などが聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。
MP3/WMA/JPEG	MP3、WMA、JPEGファイル形式で圧縮された音楽テータが記録されたCD-ROM、CD-R、またはCD-RWディスクを再生することができます。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDソフトの映像/音声はこの方式で記録されています。
拡張子	OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。
視聴制限	ディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
初期設定	本機でディスクを再生して楽しむための、映像出力設定や視聴制限（パレンタルレベル）などを設定します。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターと言います。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き換え音声などを選ぶことができます。
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル（dB）単位で測定されます。ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

用語の解説

用語	説明
ドルビーデジタル（5.1ch）	ドルビー社が開発した立体音響効果のことです。最大5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。
DTS	DTS社が開発したデジタル音声記録方式です。音質を重視し、圧縮率を低くしています。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック	音楽用CDの各曲をトラックと言います。
4:3パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面
光デジタル音声出力	音声は通常、電気信号に変えてDVDソフトからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル音声出力です。
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ビットレート	ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。
マルチアングル	同じ画像を角度を変えて撮影したのもを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。
リジューム	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
リニアPCM	Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号です。音楽用CDの音声と同じ方式ですが､サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、音楽用CDよりも高音質の音声が楽しめます
リニアPCM音声	音楽用CDに用いられている信号記録方式です。
リージョン番号（再生可能地域番号）	DVDソフトには、各国に合わせて再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
4:3レターボックス	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。 テレビ画面

仕様

● 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

項目		仕様
出力信号形式		NTSCカラー方式
対応ディスク		DVDオーディオディスク/DVDビデオディスク スーパーオーディオCDディスク 音楽用CDディスク/ビデオCDディスク
端　子	S映像出力	Y出力レベル：1Vp-p (75Ω) C出力レベル：0.286Vp-p 出力端子：S端子　1系統
	映像出力	出力レベル：1Vp-p (75Ω) 出力端子：ピンジャック　1系統
	D1/D2映像出力	Y出力レベル：1Vp-p (75Ω) PB/CB出力レベル：0.7Vp-p (75Ω) PR/CR出力レベル：0.7Vp-p (75Ω) 出力端子：D2端子　1系統
	デジタル音声出力	出力端子：光出力端子　1系統 / コアキシャル出力端子　1系統
	アナログ音声出力	出力レベル：2Vrms 2チャンネル（L/R）出力端子：ピンジャック　1系統 マルチチャンネル（FL/FR/C/SL/SR/SW）：ピンジャック　1系統
周波数特性		DVD（リニアPCM） 　4Hz～22kHz（48kHzサンプリング周波数） 　4Hz～44kHz（96kHzサンプリング周波数） 　4Hz～88kHz（192kHzサンプリング周波数） スーパーオーディオCD 　4Hz～100kHz CD 　4Hz～20kHz (EIAJ)
信号対雑音比（S／N比）		CD：115dB
ダイナミックレンジ		DVD：100dB、CD：98dB
総合ひずみ率		CD（1kHz）：0.003%
電　源		AC100V　50/60Hz
消費電力		13W（スタンバイ時：約0.4W）
最大外形寸法		435mm（幅）x 75mm（高さ）x 220mm（奥行）
質　量		約2.2kg

項目	仕様
リモコンユニット	RC-950
リモコン方式	赤外線パルス式
電　源	DC3V　単3乾電池2本使用

※(EIAJ)：(社)電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

アフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所（デノンサービス網一覧表参照）が修理を申し受けます。
（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）
その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

株式会社デノン

本　　　社　　〒113-0034　東京都文京区湯島3-16-11

お客様相談センター　TEL:　（03）3837-8919

受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次のURLでもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in　China　　511 4080 005
E57D1JD/OVMN03771